

商

況

販賣旬報 第235號 昭和8年7月11日

製鐵所販賣部

支那と滿洲 4月の旬報に「朝鮮と臺灣」を紹介したが、それは實は引き續いて此「支那と滿洲」を書く爲めのオードブルとする積りであつたのが、臺所の準備に間に合はないので今頃になつてビフテキが出て何とも申譯けがない。然もそのビフテキたるや材料は最新流行のものであるが、料理人が其人を得ない爲め必要な肉を捨てたり、いらぬ骨を混ぜる様な不手際がしてあるので、將して期待する程の滋味あるや寔に疑問であるが兎に角走り物のことであるから一應粗上りにせる、或は嚼み締めれば案外味が出るかも知れない。

後にはデザートとして南支那や南洋が残されて居るが未だ菓物屋が來た様子もないから何時出るか見當がつかない。豫め御承知置き願ひ度い。

恒例によつて斷り書きをする。

第1は大事な昭和7年の數字の無い事である。

世間で滿洲だ支那だと云ふて騒がれるのも要するに昭和7年からで、それまでは苦しい時に一寸手を付けて見ただけで其外は殆んど忘れられて居たし、又實際色々の意味で變化のあつたのも7年以降であるのにその材料が蒐まらないのは寔に残念であるが、已むを得ず6年以前の材料で概念を得ることとした。

第2は統計の不備な事である。

滿洲が獨立したのは昨年の3月1日である、それまでは當然支那の一部であつたので、支那の統計にも滿洲の分が含有され、一方滿洲で別に統計は出來ては居たが、品種の區分の仕方が全然變つて居たので之を調節するのに骨が折れ、折角の好材料も其價値を減ずる様な區分の仕方となり、又滿洲は3年から支那は4年からと云ふ不體裁となつた。

即ち此處に掲げた「支那」は昔の支那の總數量から滿洲の分を減じた數量であると云ふことをお斷りして置く。

第3は表の見方である。元來表と云ふものはお茶の様なもので最初は苦い計りで變徹もないが、味はへば味ふ程忘れられない風味が出て來る、然し其味が分るまでには間がある。

書けば簡單であるが實際の處お玉杓子のお化けの様なつた10種の數字を眺めて居て睡魔のお見舞を受けるなど云ふ方が無理である、まして昨今の様な溫氣では唯でさへ眠氣が出るものを況んや於ておやである。で、文章許り讀んでの何の事か薩張り分らぬ、と云ふて表許り見たのでは考へるのが面倒である、さりとて眼は2つあつても文章と表に使ひ分けられ様便利には出來て居らぬ。

それでこれは是非共2人で讀まねばならぬ、奥様にでも文章を讀んで載いて自分はデツと表を見て居れば興味津々として盡きず、萬斛の涼風自ら湧く體の三昧境に入つて睡魔退散、頭腦明晰となること請合ひである。

では今要領に従つて別表を眺めて戴きたい。

先づ兩國は今の處製鋼所を持たない。従つて輸入數量即ち全供給數量である。昭和6年以前3、4年の平均を見れば其概念としては支那40萬噸、滿洲15萬噸と云ふ處である。

昭和7年の數量が無いから何とも云へぬが、此數量だけを見ては案外に貧弱なのに一驚を喫するであらう。特に滿洲に於て其感が深

い。現在に於ける巷間の空氣からすれば可なり懸け離れた僅少な數字であるが、これは7年の統計を見るまでは水掛論であるから止めて置くが一意専心建設の途上にある滿洲國としては鐵道、橋梁は勿論首都の建築等あらゆる方面に鐵鋼の消費は可なりの數量に達するとも豫想されるが、一方滿洲國の實狀が其低い文化の程度や、泥土で堅めた建築で間に合ふ事等から考へて大した希望も持てぬとも云はれるが何れにせよ少くも茲1、2年は相當の消化力があると云ふ事は否定出來ない事實であらう。

次は支那から解剖して見る。日本内地では昭和2年の230萬噸を頂上として年を追ふて遞減し、昭和6年には180萬噸に減じたのに、支那は反對に昭和6年が格段の差を以て供給増加を來して居る。何にせよ1,000萬方呎の面積と4億の民を擁する朽大國の事であるから世界的不況の趨勢など他所目に桁外れするのが常道と見るより外はあるまい。

何が一番多く使用されるかと云へばやはり棒鋼である。

日本内地では鋼材中大凡棒鋼が25%、型钢が15%と云ふ處であるが支那では鍍金や釘、針金を加へたものゝ内で棒鋼が24%も占め型钢は只4%に過ぎない、之れから推定すれば鐵骨の建築など寔に寥々たるもので、精々鐵筋コンクリートで、其上農具其他細工用の角、平の需要がある爲め棒鋼が斯る高率となつたと考へられる。

軌條は日本が30萬噸近くも消費して居るから見るとあの老大な面積でよくも1萬7,000噸やそこらで間に合ふかと不思議な位である。鋼板も鍍金板を加へても8萬1,000噸で日本の1/9位であるが他に比しては消化力の強いものと思はれる。

鉄力は日本の0.5%に比しては重要な位置を保つて居ると見てよからう。鋼管も將來増加する可能性あるものとして着目すべきものであらう。

釘、針金は日本の製線、製釘業者として最も重要視すべきであるが鍍金と合しても今の處は4、5萬噸程度に止まると云ふことを念頭に置いて、恰も砂漠が水を吸ふ様な考へを持つのは却つて將來の爲よくあるまい。

此處に不思議なのは「其他」である。鋼材中で棒鋼に亞で第2位を占めて居るが、此中の大部分は屑鐵で、これによつて支那の鍛冶屋が生活して居ると見て差支あるまい。之が農具は勿論、工具、家具等千變萬化して4億の民の需要を満して居るのである。

鍍金したものでは、やはり鍍金板が一等多いがこれも釘、針金で述べたと同様過大な期待を掛けるのは間違ひであらう。

斯く通觀すると絶對數としては支那は現在寔に貧弱であるが棒鋼薄鋼板、線材の市場としては相當注目すべき必要があらう。特に此3者の日本に於ける將來の増產數量を考へる時は今より其哺育と準備が切要である。

次はお待兼ねの滿洲である。萬歳々々に送られて、一攫千金を夢みて滿洲へ向け東京驛頭を出發した有象無象が、半歳ならずして使ひ果して2分も残さず髯ボウボウで歸る様な滿洲に對する認識不足が鐵鋼界にあつてはならぬ。熟讀玩味して真相を把握する必要がある。とは云ふものゝ情なや筆者もたつた此1枚の古臭い統計と睨みくらしての事で、然も生憎其眼光が紙背は愚か紙面も臍ろに霞んだ眼で見る事故寔に我ながら頼り無い次第であるが、腹ふくれる思を

支那及滿洲の鐵鋼輸入

單位噸

品 種	中 華 民 國					滿 洲					兩國に於ける日本よりの輸入				
	4 年	5 年	6 年	1ヶ年平均	%	3 年	4 年	5 年	6 年	1ヶ年平均	%	4 年	5 年	6 年	1ヶ年平均
鍍金せざるもの 棒 — 鋼 フ — 鋼 型 (山、山、エ 丁を含む)	83,771	93,837	130,804	102,804	24.88	41,964	58,167	26,743	18,359	36,308	24.54	13,267	6,477	13,016	10,920
	10,177	8,522	8,435	9,045	2.19	871	801	643	501	704	0.48	355	179	182	239
	17,660	15,994	18,660	17,438	4.22	10,826	18,961	9,021	5,335	11,036	7.46	10,440	5,485	5,571	7,165
軌 鋼 鋼 力 鋼 板 鋼 板 鋼 針金及釘類 其 他	18,092	20,148	13,459	17,233	4.17	86,708	31,263	29,899	2,985	37,696	25.47	8,266	27,021	990	12,092
	51,290	57,137	66,534	60,987	14.76	25,164	30,071	17,554	10,237	20,757	14.04	13,612	7,919	10,098	10,570
	46,455	42,333	43,032	43,940	10.64	5,629	6,886	5,562	2,311	5,097	3.44	492	887	371	583
	12,977	12,153	18,089	14,406	3.49	7,020	6,426	4,639	4,312	5,599	3.78	4,462	4,131	5,860	4,820
	19,695	22,611	43,345	28,550	6.91	6,630	9,053	4,996	4,682	6,340	4.28	8,649	8,146	7,464	8,086
	83,118	61,371	75,195	74,895	18.13	6,418	11,970	2,641	2,177	5,802	3.92	5,112	4,729	4,007	4,616
計	356,235	334,106	417,553	369,298	89.59	191,230	173,598	101,628	50,898	129,339	87.41	64,655	65,061	47,559	59,091
鍍金せるもの 鋼 板 類 鋼 管 類 鋼 針金類 其 他	20,326	20,061	24,090	21,492	5.20	12,570	15,742	11,416	6,517	11,561	7.81	20,250	19,918	15,142	18,437
	4,739	5,844	5,600	5,394	1.31	657	1,263	115	532	642	0.43	1,079	1,068	1,021	1,057
	8,526	7,879	11,853	9,419	2.28	4,816	4,663	3,363	3,394	4,059	2.74	4,945	5,496	5,965	5,469
	8,225	5,359	8,947	7,510	1.82	2,370	2,292	3,866	1,000	2,382	1.61	3,677	3,158	871	2,568
計	41,816	39,143	50,490	43,816	10.61	20,413	23,960	18,760	11,443	18,644	12.59	29,951	29,640	23,002	27,531
合 計	398,051	373,249	468,043	413,114	100.00	211,643	197,558	120,388	62,341	147,983	100.00	94,606	94,701	70,561	86,622

のも残念故思ふ事だけ云ふて見る。

滿洲は支那の一部ではあつたが、經濟上の大神經が滿鐵である關係から鐵鋼に於ても支那の様な算盤外れはなく殆んど日本内地と同様に昭和 3、4 年の 20 萬噸を頂上に逐次減少し昭和 6 年には全く行き詰つて昭和 3、4 年の 1/3 以下に低下して 6 萬餘噸となつた。

冒頭に滿洲が 15 萬噸と書いたが、過去を顧れば 20 萬噸の聲を聞いた事があるので、將來に對して聊か心強い感を持つことが出来る。

此表で見ると昭和 3 年が 20 萬噸突破で最高記録であるがよくよく内容を點検して見ると其原因は全く軌條一本で此番狂はせを來たしたもので其他は殆んど昭和 4 年が最高で此點日本内地の狀況と一致して居る。

其後 5 年 6 年と急角度で減少し、特に 6 年の 5 萬噸に至つては萎縮し切つた當時の滿洲の狀態を其儘見せつけられる様な心持がする熱々此表を見て居ると滿洲の鐵鋼は軌條を中心として動いて居ると云ふ感が特に深い。

或は滿鐵と云ふ先入主がそう思はせるのかも知れぬが、右側の 100 分率に就て支那と比較して見ても、滿洲の方が偏在性を持つて居る、軌條其物の格段の差異は論外としてもフープとか鉚力とか線釘等、レールと關連して居ないものが支那に比して寔に尠いに拘らず、型钢、鋼板等軌條と不離の關係にあるものが比較的強い消化力を持つて居るのみならず、此 2 品種は支那に於ては寧ろ漸増の形を示して居るのに對し滿洲では軌條と其消長を共にして居る現象を見逃すことが出来ない。

滿洲のみの 100 分率を縦に眺めても軌條は棒鋼を凌いで 25% 以上を示して王座を占めて居る。滿洲國が獨立して以來此軌條の増加は目醒しいもので茲數年は劃期的の増加を豫想させるに充分である其次は支那と殆んど同様な消費率を持つ棒鋼で絶對數として 4.5 萬噸で相當の重要性を示して居る、此原因も支那と同様な理由に戰由して居ると思ふ。型钢も前述の様な見方からすれば相當期間有望視すべきものであらう。鋼板も之と同じく軌條の流れに倣して一路邁進すべき可能性を有して居る。

鋼管も新都市の建設とは切つても切れぬ縁があるので新市場として開拓し得る好適地と思はれる。線と釘は鍍金と混せて平均して年間 1 萬噸、多い時は 1 萬 5,000 噸近くの消費力を持つて居るのに未だ製線釘工場が 1 箇所も無いと云ふのは寔に不思議である、勿論それには相當の理由もあらうが客觀的に云へば、内地で蟻地獄の様な狀態を繰り返して居る製線、釘業者は月次歎願書を書くだけの努力で此新天地を研究するの勇氣位は持てそうに考へられる。

滿洲國の鐵鋼の將來に就ては 7 月 2 日のラジオで關東軍の原田技師のお話によつても、其建築は地震が無い上に、煉瓦や土や豊富な木材に俟つこと多く鐵鋼はさまで重要視されて居らないが、それは家屋の建築の事で、鐵道橋梁其他には論及して居らないから是等を考慮に入れれば決して悲觀することはないと思ふ。只此處には數年後出現すべき昭和製鋼所に就ては何等筆を加へてないことだけ、お断りして置く。

もう大低缺伸も出盡した頃と思ふが今暫くの御辛棒を願つて前進を續ける。最後の「日本よりの輸入」であるが、これだけは支那と滿洲の分離が出来なくて兩國への振合ひが分り兼ねるが常識としては一般鋼材は滿洲が多いと思ふ、一括しても兩國の總數から見ると日本からの輸入はたつた 15.5% で寔に貧弱である、尤も 4、5、6 年は未だ未だ内地自體としても、爲替關送もあつたし、製鋼會社の内容も貧弱で金利が鈍に 5、6 圓も掛る様な處はザラにあつたので海外まで手を延すことは困難であつたが近來は全く舊套を脱して高率配當が出来得る迄に改善されたのだから生産費中金利だけでも無い事と想像されるし、其上稀有の爲替安に恵まれて海外に於て歐洲品との對抗に充分堪へ得る様になつたから支那は擬て置き新興國滿洲に於ける消費力の増大を目ざしての活躍は蓋し活目に値するだらうから、此表などは全く面目を一新し只貧弱なりし昔を偲ぶ一のよすがに過ぎぬに到るであらう。其意味から此内容は讀者の判讀に委してくだくだしければ略すで片付けさせて戴くこととした。

参考として製鐵所が昭和 7 年の輸出向として契約したものは次の通りである。但し此内薄板だけは共販全部の數量である。

軌條	條鋼	線材	厚板	中板	薄板	計
7 年 22,318	11,128	12,250	13,249	1,822	23,363	84,110

是は勿論全輸出向ではあるが此内線材と薄板は南洋方面にも可なり進出して居るが、軌條、條鋼、厚、中板の大部分は大連向であるから單に此數字からのみ見ても少くも昭和6年の様な貧弱な事のないのは確實と云ふことが出来る。

これで一通り終つたが、此支那及滿洲の市場特に新興滿洲國の如きは經濟的發展の緒についた許りで、將來に向つて哺育すべきものであると同時に内地の鐵鋼業も日本製鐵の誕生を轉機として確乎たる鐵鋼の獨立に邁進すべき時機となつて居るので、兩々相俟つて慎重なる研究と發達を期すべきである。

9、10月積先物協議會—据置

月日場所 7月6日 大阪平和俱樂部

出席者 4社、東西問屋及製鐵

議事 9、10月積先物賣出に關する件

1、買手希望 市況としては前旬來稍恢復の徴あるも、此分野は常に堅實なる歩調にて推移して大なる變化なく外注の趨勢は大體に於て前月と變らず只溝形の吋寸法の値下りは此入電は一吋法のみものなる故斯の結果となりたるものにて、其他爲替關係等相當高下の素因を含有するを以て、今回は据置きとせられたし。

2、決定 希望通り全部据置とし、數量は申込を見たる上決定のこと。

9、10月積先物協議會

區分 品種	入電沖着	河岸着値段 (爲替 $\frac{1}{2}$ - $\frac{3}{4}$)	希望	決定	備考
角鋼ベース	£5-1-0	¥103'00	100	100	据置
平鋼(本所分野)	5-1-0	108'00	100	100	"
大型山形鋼	5-1-0	108'00	99	99	"
工形鋼	4-15-0	103'20	95	95	"
溝形鋼(吋寸法)	5-5-0	111'34	108	108	"
"(殆寸法)	4-19-0	106'42	95	95	"
丸鋼ベース	£5-1-0	108'00			
" 9mm	5-9-0	114'41			
中小型山鋼形	5-1-0	108'00			
鋼板6mm以上	6-9-0	130'42			
" 4.5mm	6-9-0	130'42			
" 3.2mm	6-14-0	131'42			
" 2.3mm	6-18-0	144'47			
" 1.6mm	7-2-0	147'68			
黑薄鋼板	£12-2-0	240'91			
鋳力板 170 lbs	1-15-3	30'41			
" 100 lbs	0-19-2	16'58			

7、8月積鋳力板の引受

7、8月積鋳力板の引受數量表

區分 社名	申込高	引受高		
		100lbs	170lbs	計
東京	245	78	167	245
大阪	289	84	205	289
名古屋	30	9	21	30
其他	36	10	26	36
計	600	181	419	600

近來の鋳力板の賣出數量は600 吨と云ふ最少限度であるが先月は此の數量に對しても減量を希望された程在庫の過多、賣行不振、對米爲替の變調に悩まされてゐるが延期の後の8月渡なので別表の通り600 吨を賣出され各社に割當てられた。

六軌會—2 圓上げ

月日場所 7月3日 東京日本工業俱樂部

出席者 日本レール、製鐵

議事 7月、8月積輕軌條賣出に關する件

六軌會は4月25日に開催したまゝ今日に到つたが、六軌會に

於ける輕軌條は其狀態は全然他鋼材と異なり思惑を排除して實需の充足を目的とする爲め比較的平靜なる推移を辿つて居る。

今日までの需給關係は殆んど理想に近きまでの調和を得つゝあるが今回の7月、8月積の方は6,000 吨程度にきれ度又値段に就ては現在に於ては一般の狀況は騰落共無材料にて強て求むれば爲替安等を考慮に容るゝ餘地はあるも、これとて單なる豫想に止まり賣行も寔に平凡なるを以て大體据置に願度しとの買手側希望があつた。

之に對し今回は外注値段も無く、標準とすべきものなきを以て適確なることは云ひ得ざるも、棒鋼の外注値段を参照すれば前回に比し當然相當の値上りありたることも争はれざる事實なるを以て其氣持を現はす意味に於て2 圓上げの下記の通り決定した。

次記 輕軌條 10 哩以下 115圓(2圓上げ) 10 哩超 113圓(〃)

備考 今回に限り繼目板を除き軌條のみの値段とす。

數量 7、8月積にて合計 6,000 吨

8、9月積縞鋼板賣出協議會—据置

月日場所 6月17日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、安宅及製鐵

議事 8、9月積縞鋼板賣出に關する件

1、値段 縞板は元來が思惑の對象となる物ではなく、消費數量も尠い物なので比較的値段數量共に整調を保持するのが本質であるが、今回の鐵鋼界の亂調子には超然たるを得ず、縞板も輸入に市況に聊か調子に乗り過ぎてゐた處へ現在の反動安に相遇したので勿論伸力の有らう筈はないがさりとて標準となる可き中板も据置なので縞板、元來の性質からも妄動を慎み市場を靜觀するのが妥當であると云ふ見解の下に全部据置と決定した。

2、數量 輸入も追々と減退傾向にあるので減量の要も無く前月同様230 吨を賣出す事とした。

3、締切 6月22日

8月積珪素鋼板の引受

珪素鋼板現在の需要數量は月概算1,200 吨前後と見られてゐるが、本所の製作能力も充分足り輸入も殆ど驅逐されてゐるで本來ならば需要量全部が三井會に吸収さるべきも近來假令少量で而も其の半數は2級品であるとは云へ他社製品の進出あり旁々不需求期に直面したので賣出數量も1,000 吨以内と云ふ事になつてゐたが、申込を見れば矢張豫定通り多少減少して965 吨となつた。

8月積珪素鋼板申込及引受高

品 種 寸法	B級	C級	D級	T級	計
0.35mm	150	—	70	150	370
0.43mm	220	—	20	50	290
0.5mm	35	—	—	110	145
	120	10	—	30	160
計	525	10	90	340	965

8、9月積美裝鋼板の引受

美裝鋼板は需要に供給が應じ兼ねるがさりとて高い外注には手が

8、9月積美裝鋼板申込及引受高 (單位kg)

品 種 寸法	白鶯	赤鶯	白鳩	赤鳩	計
B.W.G. #22	30,000	—	—	—	30,000
" #20	15,500	—	—	—	15,500
" #19	—	—	—	—	—
" #18	9,500	—	—	—	9,500
1.6mm	70,000	—	—	—	70,000
2mm	—	—	—	—	—
2.3mm	12,000	—	—	—	12,000
3.2mm	13,000	—	250,000	—	263,000
計	150,000	—	250,000	—	400,000

出ない状態なので400 吨の賣出數量では當然申込を引き受け難く型式に終るので例に依り申込を受けず各社に割當てられた。

7、8 月 積 線 材 の 締 切

線材は風の當りが一倍強く硬軟に感ずる事も鋭敏で、他鋼材が未だ好調の夢を追ふてゐた3月、積遅れ緩和を理由に限月延長の要望あり既に前途多難なるを思はしむるものが有つたが、其の後今回まで引續き賣止に依つて市場の整理を計り悪化に處せざるを得なかつた。斯くて今回久し振りに賣出されたのであるが依然たる製品界の賣行不振と市況の暴落が擧げられて、大幅値下げと賣出數量の制限

7、8 月 積 線 材 申 込 及 引 受 高

區 別 向 先	申 込 高			引 受 高		
	神 戸	製 鐵 所	計	神 戸	製 鐵 所	計
内 地 向	東 京	1,970	—	1,970	1,200	—
	大 阪	4,340	—	4,340	3,500	—
	名古屋	210	—	210	200	—
	其 他	100	—	100	100	—
	計	6,620	—	6,620	5,000	—
輸 出 向	7,320	—	7,320	3,000	—	3,000

が希望される現状で買氣消塵を思はせられてゐたが、内地向の賣出數量は 5,000 吨と著しく減少されたのと今月の賣出値段を底として來月より出直ほす事が豫定されてゐるので申込は豫想よりも多く 6,000 吨に達したと云はれてゐる。輸出は操業の關係と内地市場不良の爲め引受高は從來よりも非常に増加して 3,000 吨と發表されたが値段に於て充分外注と對抗爲し得るので人氣を呼び 7,000 吨以上の申込となつた。

噂に依れば他鋼材にも有りと聞くが保稅に相當の數量が潜んでゐて内外を天秤にかけてゐるとか、此の不安が引いては頭重い氣配を醸成し折角の恢復策をも徒勞に歸せしむる事となるので今後共自重が望ましく此の際特に表裏共に善處が肝要と云はれてゐる、今月の申込及引受數量は次の通りである。

8、9、10 月 積 中 型 山 形 共 販 賣 出 協 議 會 - 5 圓 下 げ

月日場所 6 月 7 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 日本鋼管、東海、製鐵、4 社及東西定期團

議 事 8、9、10 月 積 中 型 山 形 賣 出 に 關 する 件

中型山形に就ては市況の悪化に原因して賣買手間の意見の一致を見ずして前月は遂に協議會を開くに至らず今日に及びたるが、其後市況は一轉して、市場も平靜に歸し今日協議會を開催することゝなつた。従つて積月に就ても2箇月限月とすれば8月は全部休止となり製作上不都合もあるを以て、8、9、10 月の3箇月積出しとして之を緩和し従つて來月は 10、11 月積とすることゝし、定期數量は1箇月先へ延長すると云ふことゝした。

値段は元來此共販は外注を標準としてあるを以て當然之れを準用すべき筈なるも今日は總ての狀勢が之のみに據ることを得ざる状態にあるを以て今回に限り若干市況を加味して、次記に決定した。

次 記 等 邊 山 形 鋼 93 圓(5圓下げ) 不等邊山形鋼 94 圓(〃) 數量は 8、9、10 月分は 6,000 吨以上賣出すことゝした。

締 切 7 月 14 日

CHUGATA-ANGLE

OSAKA, July 7th, 1933.

Cif.	@£ 5-1-0 per long-ton.
Ex. ½-¾	@¥ 81.48
Duty	25.06
Charge	2.50
Per K. Ton	109.04
	107.32

9、10 月 積 中 板 共 販 賣 出 理 事 會 - 1 中 板 据 置 2 中 板 2 圓 上 げ

月日場所 7 月 7 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 東海、製鐵及 4 社

議 事 9、10 月 積 中 板 賣 出 に 關 する 件

1、買手希望 外注も先月と殆ど變らず、市場も前月に大なる變化なきを以て据置とせられたし。

數量は 9、10 月は需要期に向ふを以て成るべく多く出され度し。

2、理事會 市場も相當鈍りとなり、又厚板との關係もあるを以て 2 中板を 2 圓上げとし 1 中板は据置きと決定した。

1.6mm 2.3mm 3.2mm 4.5mm
130圓(据置) 135圓(〃) 126圓(2圓上げ) 118圓(〃)

數量は買手の希望もあるも概ね先月位の數量を賣出す豫定なるも今一應協議すべし。

3、締 切 7 月 14 日

Chuita September/October Shipment

7th July, 1933.

September/October Shipment

1.6mm	7- 2-0	147.67
2.3〃	6-18-0	144.47
3.2〃	6-14-0	134.43
4.5〃	6- 8-6	130.02

Ex. rate ½-¾

6 月 中 三 港 輸 入 概 況 - 復々 激 甚

(1) 本月の輸入は前月より 6,000 吨増加して遂に 4 萬吨を超すに至つた。増加の優なる物は 平鋼及等 山の各 2,000 吨増、鋼板 0.7mm 超の 4,700 吨増で之に其の他の増加數を加算すると合計 1 萬 1,000 吨増となる。減少した物は線材の 3,200 吨減を筆頭に鉄力の 1,400 吨減が大口で其の他に特異な物で且つ少量宛ではあるがシートパイリングと鋼管の 2 ツ丈けが減少し合計 5,000 吨減となり以上の増減が差引されて先月より約 6,000 吨の増加となつたのである。

是れに據つて見るも近來思惑の對象となり人氣を集めてゐた品種は全部増加してゐて減少した物は市場から餘り關心を持たれてをらぬ物なので市場を中心として眺めれば 6 月の輸入は全部増加したと云ふべきではあるまいか。

尚ほ之れを港別に眺れば絕對數に於ては依然大阪が多いが其の増加の傾向は大阪激増と云ふ最近の型に多少變化を來して輸入は大阪から横濱へと云ふ感がある。計に於て前月に對して神戸は 300 吨の増加、大阪は 200 吨の減少、横濱は 5,500 吨の増加となつてゐる

大阪は線材が 2,700 吨、鉄力が 600 吨減少し其の他の物は大部分増加してゐるのだが其の増加率が少いので前記 2 品種に依つて成された減少數を打ち消す事が出來ず差引して尙 300 吨の減少となつたので之は明に大阪の輸入が下火となつた事を物語つてゐると云へよう。然しながら噂によれば保稅品が莫大なる數量に達してゐるとも聞くので今月の現象を以て今後を豫斷するのは或は早計かも知れないが横濱が今月となつて丸、角、平で 1,600 吨、型物で 1,500 吨、鋼板で 3,800 吨と云ふ高度の増加を示してゐるのに對比する時輸入の一番槍をつけた大阪は引くにも疾く、出足の鈍かつた東京方面は退くのも殿となつたと見られ假令保稅に伏兵ありとするも横濱の増加が目につき始めたのは輸入の宗家たる大阪方が減退したからで輸入は大阪から横濱へと云ふ事が出來ると同時に愈々輸入にも末期が近付いた證查ではあるまいか。

(2) 眞に加速度に累加を辿り重爆撃機の威力を振り翳して荒れ狂

つた今回の輸入であった。中板から厚板へそして中山へ棒鋼へと思惑の対象となる物は其の何れたるを問はず傘下に集め、遺憾なく暴君振を發揮した。

累計に就て之を見れば前年同期累計より減少した物は工形、鋼板 0.7mm 以下、軌條、シートパイリング及鋼管と云ふ特殊なる立場に置かれ思惑の対象とならぬ物である。増加率の少ない物は鉄力線材及「其の他」で鉄力は需要の比較的増減少き物で其の増減の原因も思惑より實需の如何にあり、線材は内地の増産に加へて消費量は製品界の情勢に支配される物なので鉄力、線材は「其の他」と共に今日では特殊なる部類に数へられるに至り即ち特別な物である。是れと對比して思惑の對象となつた棒鋼、型钢、鋼板の増加状態は眞に華々しく最低 2 倍より多き 17 倍強に達する物もあるので如何に是れ等の品種が關心を持たれたか察知される。

斯くの如く激増其の止る處を知らなかつた本年々初以來の輸入も既述の如く大阪から横濱への轉換が示すやうに保税物や後れ走せの輸入はあり餘波は残るとするも愈々一段落となるのではあるまいか然しながら世界的及國內的に相當先行好轉を期するに足る事情も伏在するので浮氣者の輸入は一時冷靜にかへるとも環境次第でいつ狂氣染みた輸入時代を再現せしめぬとも限らない、何としても何時になつても氣の許せないのは輸入であるが現在まで比較的輸入による怪我のすくなかつたのは前年は輸入も内地の供給も共に過少であつたのと 1 月以來の莫大なる輸入は 6 箇月を経過した今後に於て愈々清算される運命にあるからで今後幸にして輸入が正常に復し多少共需要の據頭を見るならば今回の輸入の累積も無難に消化し得るであらうが若し清算期に入つてゐるのを忘れ從來の如く輸入を甘く見て手をつけるならば相當重大なる結果を招くのではあるまいか。

既往は問はず難關は今後に在る。他人の過も、時の勢も共に他山の石とし以て前轍を踏まざらんとする者に榮光あれ。

(3) 今月の輸入を品種別に眺めて見る。大阪の丸鋼はスクラップ混合品及極く少量の特殊物を除いては全部市場向の物であり細丸 60 吨、ベース丸 1,080 吨、中丸 2,200 吨、太丸 30 吨と各種各寸法に及び遠慮會釋なく入つてゐるが神戸は中丸の 90 吨以外全部が特殊品質の小口需要であつて完全に大阪港と異つた立場に置かれてゐる。横濱は市場向として太丸に 25 吨許が入つてゐるが大部分は中丸の 530 吨で残り約 200 吨は少量宛の雑多なる特殊鋼である

丸鋼三港合計 5,000 吨の中、中丸が 3,700 吨で大半を占め残り 1,300 吨がベース丸、特殊品、細丸、太丸の順となつてゐる。細丸は極く少量となり嘗て市況不良の頃は 6mm 一寸法の少量が丸鋼の中で目立つてゐたが誠に今昔の感に堪えない。太丸は元來需要が限定されてゐる物なので其の範疇を遠く出でず。大阪にベース丸が約 1,000 吨輸入された事は大阪の丸鋼界が如何に戰國時代式の對立で手當り次第に思惑をやつたかを物語り統制緊要を叫ばれるに至つたのも道理となづかれる。

斯くて神戸が特殊品のみとなつたと見らるべく横濱は共販の御膝元丈けに H 又市場の狭い丈けに思惑も中丸に留り只時節柄其の數量が多かつたので特殊鋼の多い處を見れば輸入状態としては大阪より遙かに良性質と云ふ事が出来るのではあるまいか。

丸鋼 5,000 吨は何としても過多の感がある。累計に於ては 13,414 吨となつて丁度前年 1 ヶ年間の 2 倍に達してゐる。冷靜に此の數字を眺めれば近來の丸鋼界沈淪の過根此處にも在りと悟るのどがいざ其の道に入るとそうもならないらしい。よろしく考慮願ひ度いものである。

角も、丸と同一傾向を示してゐる。大阪の角は大部分が二、三の

大手筋に依つて輸入され其の全部が市場向のものであり、神戸は全部が特殊需要向、横濱は其の大部分 480 吨が市場向で殘餘の少量に特殊鋼が残つてゐる。即ち輸入時代が去れば 480 吨は自然消滅して其處に残るのは特別な物のみと云ふ先年頃の輸入傾向の面影を存してゐる。

角も昨年に比して斷然多く本年累計は丸鋼同様昨年中の輸入合計の 2 倍に垂とし昨年同期累計と比較すれば 3 倍強である。

平鋼 4,000 吨の輸入は將に本邦鐵鋼界創始以來の事ではあるまいか。神戸は 30 吨が市場に向けられる物で残り 200 吨は實需家の手に直接入るのであるが大阪の 1,500 吨横濱の 2,250 吨は共に市場にバラ撒かれる代物である。

本年 2、3 月頃本所先物の供給不足に基因する買付であらうが官民分野全般に及び無暗に輸入されて居るので市場にとつては當然頭痛の種となるのであるまいか、累計に於ては昭和 3、4 年好況時の 6 ヶ月の輸入數量に比適してゐるが大して荷動きが有るとも聞かない今日本年累計の 1 萬吨に近い數量は何處に何う納つてゐるのであらう平のみではなく輸入が激増してからそろそろ 6 ヶ月間を経過せんとしてゐるので其の影響もボツボツ現れ始める頃である。平も其の一部であるが棒鋼輸入本年累計 24,000 吨と共に其の赴く處因果の種を蒔かねばよいと見られてゐる。

型物は工形を例外として前年同期累計に比すると是れ又一齊に激増してゐる。就中等山の 17 倍以上の白眉である。1 月は無く 2 月に 100 吨入つたと思ふ間も無く 3 月には 1,000 吨、4 月には 1,500 吨そして先月は 3,000 吨と飛躍的累進を示したが 今月は遂に 5,000 吨を突破して記録を破つてしまつた。

三港計 5,200 吨の中、小山 200 吨、中山 4,000 吨、大山 1,000 吨で全部今後市場に賣出される物である。

中山共販のキャンセル問題は無事に解決されたものと他方に於て中山の莫大なる輸入が繼續されてゐるのを知ると外國が日本なのか誰が商賣してゐるのか一寸見當がつかなくなる。

不等山及溝形も需要の少いのに比しては輸入された方でこれは大勢上豫想される程度を大して出ないとするも其の全部悉くが大型物であるのは注目に値する現象である。

斯くて條鋼類は前月に比しては 6,400 吨の増加となり前年同期累計に比しては 27,500 吨の増加となつて而も我鐵鋼界大手筋の手が大分動いてゐるので現在既に買占め、宣傳等に依つて自己の手持品を有利に導かんとする策動ありとか聞くが今後は一層條鋼類を繞つて掛引が交されるのであるまいかと見られてゐる。

鋼板 0.7mm 超の中、厚板が大分保税されてゐるので此の數字より尙ほ 3 割は殖へると云ひ 6 割は増すとも言はれてゐるが税濟された物は別表にも在る如く 12,600 餘吨である。そして今月に於ける全般の品種に通じての現象であるが横濱の増加率が斷然多く前月の 4 倍となり大阪が騰勢衰へて 2 割の増加に過ぎない事となつてゐる。此の大阪の減率こそ即ち保税に在りとの聲を裏書するので注目すべきであると爲す向が有る。

0.7mm 超は中板の輸入から始まり厚板に移動して先月までは厚板が中板を壓してゐたが今月は兩者共殆ど同數となり横濱の如きは中板、厚板共に全く同數の 2,485 吨と云ふ面白い現象を示してゐる。大阪も中板 2,500 吨、厚板 2,400 吨と殆ど等しく神戸は厚板として 32mm までの物が細々と入つてゐるので厚板が比較的多くつたゐる。三港を合すれば中板 5,000 吨、厚板 5,400 吨となり其の他の約 2,000 吨はスクラップ 550 吨混合品 750 吨番物 700 吨である

0.7mm 以下は神戸には無く、大阪は浪原、横濱は實需家が買付け

た物が何れも少量宛入荷してゐるばかりである。

鋼板 0.7mm 超は本年頭初俄然激増に轉じてより今日に至るまで空恐ろしい迄に輸入され通して今も尚ほ増加を續け本月は先月よりは 5,000 吨本年累計は昨年同期累計より 32,000 吨と云ふ激増振を呈するに至つた。是れ丈けの輸入が有るに拘らず最近厚板の保税品が満洲に積出されたとの噂に不味沈滞の鋼材界に魁して厚板の相場が反撥した處を見ると未だ思惑の對象と爲すに足る餘裕が有るらしく保税品の歸趨と共に今後の向背は豫想困難と云はれてゐる。

鉄力及線材は嘗ては輸入界の花形であり現在とても需要範圍の廣い物なので絶對數に於ては多量で依然輸入界に重きを爲してゐるが從來マキシマムに近い迄輸入され且つ比較的需數量と需要方面が限定されてをり旁々今回の輸入招致の原因と鉄力及線材を要する原因とは自ら異なるものがあるので今回市場の關心から遠ざかりむしろ其の他の特殊な物と共に此の輸入狂時代をよそに超然たる存在となつてゐる。

即ち鉄力、軌條、線材、シートパイリング、鋼管及「其の他」は狀勢も數量も大して變化なく健實なる歩調を踏みしめつゝ其の時々の起伏を畫いてゐると見られてゐる。

ブラツセル齋藤囑託通信 6 月 7 日入電

市場閑散 相場不變

6 月 12 日 發信 愈々國際共販機關を 6 月 1 日より組織運用を見る事と相成候へ共未だ事實上その運用を見るに至らず 5 月 31 日の當地委員會は不取敢協定新値段の發表あり白耳義國內共販組合はウグレー社を中心に組織せられ Compagnie de Siderurgique Belge と稱し組長、副組長の指名ありたり尙當分各工場は各自それぞれ従前通り其販賣を繼續すべく引續き工場專屬販賣機關たる（獨逸にて所謂 Werksfirmen）ウグレー系の Socobelge ソシエテ、ゼネラル系の Columeta コツペ系の Dovum 等其機能を繼續し残る二、三工場は輸出商を通じ其販路を續けると申居候

されば當分は共販組合は一種のコントロールの機關たるべく賣値のコントロールに就ては輸出商側に對し特に嚴重なるべき各工場は關係輸出問屋名簿を作成提出を見ることゝなるべしと申居候

發表協定賣出値段は

Bars (base)	£	3—0—0
Plates $\frac{3}{16}$ "		3—18—6
" $\frac{1}{8}$ "		4—6—0
Sheet bars (assort)		2—8—0
Billetts $\frac{3}{4}$ "		2—7—0
Blooms		2—5—0

6 月 17 日發信 今週の市況は閑散を極めたるは一に共販機關の運用細則の發表を待ち居ることゝ採算不安定のために外ならず候 5 月末發表のベースコーテーションに引續きエキストラの發表有之候從來と殆んど開きなく只小型板鋼につき幾分變更ありたる位に御座候即ちマルタン鋼板 7/8 軟鋼板 5/-

尙本 17 日巴里會議にて cif quotation を取極め發表ある筈次に名目相場なれ共コントロールの決定發表 fob prices を御報申上候

	Export	Inland
Blooms	£ 2—5—0	fr. 410.00
Billetts	2—7—0	440.00
sheet bars	2—8—0	470.00
Bars (Base)	3—0—0	535.00
Joist N. S.	2—15—0	535.00
" B. S.	2—16—6	550.00
Angle (med.)	3—0—0	535.00
hoops (hot-rolled)	3—12—6	675.00
Plates 5mm or $\frac{3}{16}$ "	3—18—6	675.00
mild Thomas Plates $\frac{5}{16}$ "	—	107.50
" $\frac{7}{16}$ "	—	97.50
" $\frac{9}{16}$ "	—	92.50
galvanized sheetes 3mm	—	109.00

"	1mm	—	125.00
"	$\frac{1}{2}$ mm	—	155.00

尙割戻率は鋼板は $\frac{1}{16}$ 棒鋼工型鋼は2/-半製品中「日本向」1/1 $\frac{1}{2}$ 他方面向輸出品は 1/- と取極められたる由に御座候

東西市況一伸力遅々

3 月上旬を峠として軟勢に轉じ 6 月中旬に至るまでデリ貧を續けて來た市況は、前旬來丸鋼が恢復してから氣配頓に明朗となり或は永らく期待しつゝ而も暴落を止める力ともなつてゐた「今に來る」時がどうやら接近したかに見られ荷動もボツボツ有るとか、丸も愈々落ちついたとか、依然先行には期待を繋ぎ繋ぎして賣あせる者は無いが、厚板がどれ丈け満洲方面に積戻されやうと保税倉庫にまで來てゐる以上内地市況の解熱劑とするには藥種屋に走る程の手間ひまも要らないであらうし、輸入は案外少いとは云ふものゝ 1 月以來の輸入が 6 月も激増し 7 月も熄まずとすればそれが市場の重荷とならない筈はないと云ふ頭痛の種があるのに加はへて今回の反撥が根が實需の擡頭ではなく市價吊上策と輸入品の積戻と問屋間の思惑と云ふ蟬蛸の明日をも知らぬ命に似たばかり人爲の動機に因る硬化なので概して前旬より高値にあり目先悲觀の材料は無く現在強含保合とは云へ折柄夏枯にも直面してゐるので折角の轉機に際して底力なく伸力鈍しと云はれてゐる。

東京市況

丸鋼 丸鋼共販の強氣と伸鐵組合の成立期待を映して伸鐵に投物が無くなつたので細丸總じて 9 圓 3、40 錢と引締り、9mm はキャンセル問題も何うやら效果的に解決するとの意見多く伸鐵に對する脅威も薄らいだので氣分明るく、ベース物は東西鞘寄せて協定値頃を維持し商内もボツボツ有る處から強含ながら夏枯時とて尙一段の伸力に缺けてゐる。中丸は其の多少は兎も角舶來物の數量も略見當がついたので氣迷を脱した處へ 11 圓捌の買が有るとの噂に硬化し、太丸も 11 圓 50 錢と駢りを唱へられてゐる。

角、平鋼 角鋼 19mm 以下は舶來品の入荷と伸鐵との振合上伸力鈍いが 38mm は 11 圓 50 錢、65mm 以上は 13 圓と市中品薄の爲め上放れ、平も 6mm×38mm 等小さい物は角同様伸鐵品との振合上伸力鈍いが丸に追隨して小駢りと云はれ 6mm×75mm 及 3 分厚以上は入荷不圓滑の爲め硬化を期待されながら外注過多の聲に伸憫みと云はれてゐる。

型鋼 丸鋼の反撥は伸鐵の目を當然小山から引き離すし舶來物も多からずとあつて小山は順調なる推移を辿つて 10 圓乃至 11 圓方を唱へられ、中山は一時外注の聲に脅かされて亂調子となつたが安賣する者の無いのに加はへて大手筋の思惑買あつて反撥し相場は駢りを唱へられてゐるとは云へ共販の態度も判明しないので一般に氣迷商狀を呈し氣配良好ながら共販關係の雲行を眺めて茲許待機態と見られてゐる。大型物は動搖少く之れ又先高見越に氣配好調である。不等山は ① 1、2 中型製品と 9×90×150 は品不足の爲め 13 圓方に昂騰したのを例外として氣配は等山と變らず。溝形 75×180 は大連方面からの入要買の爲め大阪に引かれて 13 圓と高値唱となり、工形も 10×125×250 は品掠にて相場は異常に高く、總じて大型物は買集めに依つて投物皆無となり品薄の物も散見されるので市場の注目を集めてゐると云はれてゐる。

鋼板 前旬來の反撥は丸鋼の恢復からであつたがそれと殆ど同時に厚板の輸入が事實は相當多いのだから其れ以外可成の數量が保税されてゐると云ふ噂に、では内地侵入は尠いと云ふ氣分を醸成してゐた處へそれが満洲方面へ積戻されたので大阪の厚板の活氣が起り

延いて中板から中山に波及し旁々物色買も現れて氣配好轉したと云はれてゐる。

1'6 は民間物も出廻るし、其の他も一般に遂早く騰勢一巡の後とて目下一服の態であるが中板の5×10は品薄の爲め1'6が19圓、2'3が16圓50錢、3'2が13圓50錢方と上放れてゐるものもあり確に大底は突いたと見られてゐる、厚板も今後急騰する材料は見當らず此の邊を山と見る向が多いが前旬よりは1圓方の高値にあり其の後も輸入に氣を引かれながらも強含で此の儘秋口の荷動を待つものと見られてゐる。

大 阪 市 況

丸 鋼 東西關係業者の協調、日銀利下げ、インフレ行進等マジヤズ伴奏により先般來我鐵鋼界も踊り始め相場は一齊に9圓臺据えとなつたやうである。然し爲替の不安定其他國際經濟會議の危機等を眺めて買手は一齊に見送りの態度を持して居り従つて目先依然夏枯れの場面を持続するであらうと見られてゐる。

6mm, 8mmは從來採算無視したる伸鐵品の市場往行のため悩まされてゐたが昨今では伸鐵屋も8圓50錢以下には賣應ぜざるため市中相場は幾分好轉し9圓臺据えとなつた様子である。9mmは當所品の出廻り順調に加へて伸鐵品の多量注入のため相場は茲許伸惱みの態と云はれてゐる。12mmは恰も伸鐵品の獨占市場の觀あり従つて商内の妙味は少いようである。ベース物は市中在庫豊富にて賣行良好ならざるため9圓50錢見當を唱へられ目先市況を刺戟する材料不見當。中丸は外注品の入荷のため先般來不味の成行を示してゐたが昨今では各問屋共安賣せざるため相場は幾分引返したやうであるが何分にも夏枯れ閑散期とて目先大した變化はあるまいと見られてゐる。太丸變らず。

油 照 港 に 浪 は な か り け り

角、平鋼 角鋼は丸鐵の値上に連れて相場は幾分引締つた様子である、就中38mmは市中極端なる品掠れにて12圓以上を唱へられてゐる。中形角は外注品の入荷も少く市場品薄にて11圓以上に取引されてゐる。65mm以上のものは品皆無にて13圓50錢と光つてゐる。平鋼 $\frac{3}{8}$ "並に $\frac{1}{4}$ "厚のものは伸鐵に押されて不冴。

75mm幅以上のものは手當薄にて相場は10圓3、50錢見當である。

型 鋼 小形アングルは外注品並に共販品の入荷順調なるため市中ストック漸増の態にて賣行も捗々しからざる所から相場は頭重い中形アングルは概して荷動き良好なるため手當薄と相俟つて相場は10圓以上を唱へられてゐる。然しアウトサイダーの一舉一動によほど注意のまなこを注いでゐるようである。大型アングルは荷動き弗々あり手堅き含みで保合つて居る。チャンネル及ジョイストは特筆すべき材料はないが概して品薄と云はれ相當な値頃で商内されてゐるようである。

鋼 板 1、2中板は外注品の入荷も一巡し各手持筋では安賣せざる處から大勢は既に大底を入れ目下上向き歩調にある様子である。厚板も外注一段落と見る向きが多く先期待されてゐる。

線 材 一、二製線會社の休業、夏期に於ける加工能力減退、其他アウトサイダーの積極的市場進出等の惡材料を眺めて底力はないようであるが過般の共販發表値段に幾分氣を持ち従つて相場は別表の如く先旬來2圓方反撥した。

鐵 力 板 依然として爲替の不安さらず圓價は騰がる一方であるので目下賣買共睨み合ひの態といはれてゐる。

販 賣 旬 報 第 236 號 昭 和 8 年 7 月 21 日

製 鐵 所 販 賣 部

鋼 材 年 報 第 7 號 を 見 て

1、昭和8年版の鋼材年報が本曜會から出た。

平常の年であれば鋼材年報も机の奥深く秘藏されて日の目を見ることも稀であつたが、今年と來年の年報だけは是非白日の下に晒して慎重に研討されなければならぬ。

何時も口癖ではない筆癖に書くことであるが、日本の鐵鋼業者は餘りにも數字を閉却して「感」に頼り過ぎる。近來は餘程此數字に關心を持つ様にはなつて來たがそれでも未だ未だ神秘的な「感」を尊重すること遠く數字を見る眼を凌駕して居る。然し商機は決して數字によつてのみ動くものではなく、人氣の作用も可なり重大な役割りを演ずることも否定出來ないから敢て之を全然没却せよと云ふのではないが、要するに空中樓閣は決して永續すべきものでなく、常に科學的基礎の上に立つ「感」でなければならぬと云ふ意味から此數字の研究を切に薦めるのである。

2、貴重な資料も時機を失しては甚だしく其價值を減ずるので、今年は例年遅延の原因となつて居る製鐵のみに限つた表の二、三を省いて取急いで上梓した。是等の表を讀む上の注意を二、三述べて見る。

1、需給 第1表は總括的のもので之は鐵鋼需給に關する概念を形成する上に切要なものである。

但し之れは輸出に關する資料が無い爲めに加へることが出來なかつたのは寔に残念である。己に自給自足より一步を進めて輸出に轉換の今日に於て輸出統計は國家的見地よりは是非完成させなければならぬものであるが、之には鐵鋼業の理解ある協力を切望するものである。猶此表は寸法別生産高により其主要寸法の近所のものを集めたものであるから其の詳細を知ろうと思へば第2、第3、第6表を點檢して戴きたい。第6表で教へられる事は追々と耗化が徹底して近來寸法物が極度に影を失つた事である。

需給、價格、販賣高を通覽すると其處に一脈の相通するものゝあるのは見逃せない事實である。即ち昭和6年は供給も極端に減じ、價格も近年の最低を示し販賣高も當然の歸結として僅少となつた。即ち一般市況が硬軟共集中すると同様全般の禍福も偏在するは已むを得ざる事實である。

3、昭和7年の特異質と云ふべきものは第1表に於て窺ふことが出来るが、先づ其供給數量から云へば6年の176萬噸に對し、20%を増加して211萬噸と再び200萬噸臺に飛躍した。

内容を詳細に見れば色々と發見することもあるが概觀して鋼板よりも條鋼の方が若干強度の増加を示して居る。

附圖の2表は是等の事實を鳥瞰する爲に作成したが「鐵價の變遷」を見れば昭和6年中が如何に慘憺たるものであつたか一目瞭然であると同時に、7年8月より破天荒の急角度を以て奔騰したかを窺ふことが出来る。

「供給表」中の圓を眺めると轉々今昔の感に堪えぬものがある、數年前迄は日本の鐵鋼は概念として製鐵所、民間、輸入で大凡3分した天下を保つて居たものが此圖を見ると民間が全數量の正に半を占有し、製鐵所が輸入と共に残る半量を埋める様な状態となつた事が看取される。

4、要するに昭和7年は我國鐵鋼界として一大轉機に遭遇した初期を表現するもので各表の到る處に其鋒芒を見出すことが出来るが猶詳細、綿密に研究すれば將來の各方面に對して判斷の基礎たるべ

き親切的な指針となるであらう。

9、10 月積當所先物の申込と引受—申込 2 萬噸

他の鋼材が微細な原因によつて軒並に騰落を繰り返して居る今日の鐵鋼界で大型物のみは此域外に超然として常に平靜、穩健な道程を辿つて居るが、市場は何と云ふことなく先高を氣構へて事あれかしに待つて居る處へ、當所が4箇月に亘つてカットした後とて大型物は需要期を控へて今月の申込は俄然激増の徴を示して例月の1萬噸程度を破つて正に2萬噸の壘を磨する迄になつた。

品種別に見て勿論全部増加の傾向であるが、特に溝形鋼が激増したのは將來に對する市場の期待を裏書きするものと判斷される。

揚地別に云へば東西共殆んど同様な狀態で増加し、別表の通り大阪の如きは 14,000 噸近い數量を示す様になつた。

9、10 月積先物申込高

揚地 品名	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角鋼	—	—	—	—	—
平等	850	2,241	—	10	3,101
溝工	520	1,654	—	20	2,194
形	2,880	5,082	40	94	8,096
形	1,475	4,825	20	45	6,365
合計	5,725	13,802	60	169	16,756

猶引受は工場能力關係と地場の狀勢を加味し五度カットして、大凡 3,500 噸の引受けと決定した。

前月の工場別引受數量を示すと次の通りである。

8、9 月積先物引受高

工場 品名	1、2 3 小形 小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	合計
角鋼	—	—	—	—	—	—	—
平等	—	—	—	—	585	—	585
溝工	—	194	143	—	195	—	532
形	—	—	368	102	541	463	1,474
形	—	—	—	—	1,167	247	1,414
合計	—	194	511	102	2,488	710	4,005

8、9 月積鐵力板賣出協議會—別途賣出

月日場所 7 月 13 日 製鐵所東京出張所

出席者 4 社、東京問屋及製鐵

議事 8、9 月積鐵力板賣出に關する件

弗爲替の暴落は米國を控へたる鐵力には靦面に反映して遂に歐洲品を遙かに下廻ると云ふ奇現象となり、然し其値軸は前月外注より 2 圓 50 錢下値と云ふ甚だしきものとなり市場も混迷狀態となつた然るに當所としては外注を押へ、思惑を減少せしむる爲めと販賣の都合により是非 1,000 噸見當の數量を賣出す必要あるも、此際直ちに賣出すことも至難なるを以て適當の時機と方法により此販賣を當所に一任せられたしと云ふことにて解散した。

“Aug/Sept. Shipment”

American Make		I. C. Primes Paper-lined	
	100lbs		170lbs
C.f. Price	\$ 3.78	\$	6.95
Ex. @ 29-1/2%	¥ 12.98	¥	23.86
Int. (0.9%)	0.12		0.21
Duty	0.72		1.22
Charges	0.08		0.15
	¥ 13.90		¥ 25.44

9、月積賣出三S會—据置

月日場所 7 月 12 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、高島屋、日立及製鐵所

議事 9 月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値段 三S會希望としては弗爲替低落の關係により米國物の値段を探りたるに別表の通り追々と歐洲物に接近しあるを見るも、歐洲物の c. i. f は前月と變らず、爲替も殆んど變化なきを以て、彼此參照して前月据置とせられたしとの事であつたので其意見を採り買手希望通り次記の通り据置きとした。

2、數量 約 1,000 噸許りの積遅れ關係もあれば今月は若干減量すべしとの意見も出たが、兎に角今月は約前月通りの 1,100 噸の賣出しとなつた。

3、締切 7 月 20 日

次記 (イ) 電鋸機用珪素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 305 圓 (据置)

裸バンド締のもの “ 金 295 圓 (据置)

(ロ) 電鋸機用珪素鋼板 C 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 325 圓 (据置)

(ハ) 電鋸機用珪素鋼板 D 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 345 圓 (据置)

(ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 420 圓 (据置)

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと

(ヘ) 珪素鋼板厚物は T 級品は金 10 圓引其他のものは各種共金 5 圓引のこと

Latest current prices of Electrical sheet

Tokio July 11th

	English (Ex. 1/2-3/4)		American Ex. 29-1/2		
	Stalloy	Special Lohys	Apollo Special	Armco Trancor #2	U. S. Electrical
	(T)	(B)	(T)	(T)	(B)
Cif	£27-11-6	£21-2-6	\$ 133.88	\$ 135.91	\$ 105.20
Exchange	¥414.91	¥ 340.83	¥ 453.81	¥ 490.69	¥ 356.59
Interest 1.3%	5.78	4.43	5.90	5.98	4.63
Duty	6.77	6.77	6.77	6.77	6.77
Landing	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
per long ton	453.56	353.13	467.58	474.54	369.09
per 1000kgs	451.31	347.55	460.19	467.04	363.25

8、9、10 月積小型山形鋼共販賣出理事會—5 圓下げ

月日場所 7 月 14 日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議事 8、9、10 月積小型山形鋼賣出に關する件

1、先月は先物賣出を延期し、臨時賣を理事長一任としたが東西から引合は 5、600 噸あつたが、途中で消えたものや賣手買手共値段の點で決心し兼ねて今日の理事會を待つたものなどで結局 1 噸も受注しなかつた。積出も前月は至極順調に運び、今日に於ては積遅れも殆んど解決し得る狀態となつた。

外注は cost として僅少の値上りを見、爲替も變らざる爲め河岸着には大なる變化なきも市中相場は先月に比し小高下を演じ居るに留まりて前月より大して恢復したる形跡も見えず、概して共販値段の 3、5 圓下値を彷徨し頭重の域を脱せず、又一方丸鋼の値下げによるアウトライダー及伸鐵の進出等を考慮し 5 圓下げの次記に決定した。

次記 A B C

107 圓(5 圓下げ) 102 圓(“) 97 圓(“)

2、積月、前月 8、9 月積を延期したるを以て今月は 8、9、10 月

積とした。

3、数量、市場の趨勢と其穩健なる推移と共販の使命に鑑み、600 吨の賣出しとなつた。

4、締切 7 月 19 日

Small Size Equal Angle Quotation

Tokio, July 14th, 1933.

Specification	Hamburg tel. July 8th 1933.	Exch. @ 1/2-1%
mm		
1/2" x 1/4" (3x20)	£ 6-4-6	¥ 125.56
1/2" x 1" (3x25)	6-0-0	122.00
1/2" x 1 1/4" (3x30)	5-16-0	118.84
1/2" x 1 1/2" (3x40)	6-4-6	125.56
3/8" x 1 1/4" (5x30)	5-16-0	118.84
3/8" x 1 1/2" (5x40)	5-16-0	118.84
1/2" x 1 3/4" (4x45)	5-11-6	115.28
1/4" x 1 1/2" (—)	5-16-0	118.84
1/4" x 1 3/4" (6x45)	5-11-6	115.28

8、9 月積中板の締切—申込 5,200 吨

輸入の激増が何としても頭を押へてゐるが、急落すれば買集め、行くも戻すも幅が廣いので依然思惑道には適つてゐて一般は弱氣、買控への時期となつたにも不拘申込數量は漸減しつつありとは云へ前月より 500 吨減に止り尚ほ 5,000 餘吨を保持してゐる。申込状態は 32 が舶來物が多かつたのと前月相當引受けられたので減少し其の減少した數量だけが 45 に赴き其他は頭重い氣分をそれでも多少映して僅少宛の減少を示してゐる。

引受は申込状態を考慮されて 32 が 400 吨減つたが 45 製鐵所第 3 鋼板の出廻を豫定されて 300 吨増加し其の他は變らず全部を通じて前月より 100 吨丈の減少である。

8、9 月積中板の申込及引受高

區別 向先	申込高					引受高				
	16mm	23	32	45	計	16	23	32	45	計
東京	1,005	440	1,235	505	3,185	420	200	410	225	1,255
大阪	455	205	555	470	1,685	455	205	555	470	1,685
名古屋	85	25	155	60	325	75	25	95	45	240
其他	10	—	15	—	25	10	—	15	—	25
計	1,555	670	1,960	1,035	5,220	960	430	1,075	740	3,205

ブラツセル齋藤囑託通信

6 月 24 日發信 今週の市況は先週に引續き閑散なるは一に共販機關の運用細則發表を待ち居ることにて目下當地の白耳義共販組合 Cosibel (Compagnie Belge Siderurgique) は Cif. 協定價格の取極め採算中にて近日中主要輸出國に對する Cif Prices を發表する由に御座候、一般氣配は良好にて近く爆發相場あるならんと申居候、尙今週 Cosibel は支那へ多量の契約をしたとのことを耳に致候

Cosibel は本部をブリュッセル市に置き(9. rue de la Chance-lerie Bruxelles) 既報 4 月 28 日附の 6 共販組合中の 4 即ち半製品、工形鋼、棒鋼、中板の國內統制機關として白耳義會社法の組合會社 (Societe Cooperative) 即ち持分會社公稱資本 500 萬法の法人として創立せられ持分は各工場(12工場)の生産能力に應じ公平に分配せられ重役及幹部も各工場の主腦者これに當り以上 4 種の製品にかゝる限り總ての取引は(内需輸出共)當會社を通じてなされ入注は豫め定められたる割當量に準し各工場へ配分せらるゝものと致し候

東西市況—反落

先月末よりの反撥は丸鋼の立直りを機として中山、大型の思惑買依る人爲策が先高氣構への人氣を刺戟して相當の効果を収めたものと見られたが、案の定實需の伴はぬ空景氣は永續きせず、先旬既に伸力を失つたが、今旬に入るに及んでは東京の盆、大阪のお祭、

舶來の利目がそろそろ現はれる等賣行不振と手持増加が重なつて反落氣味となりザリ食を續け、特に來勘前とて市況閑散を傳へられて居る。但し地方筋より鐵筋の小口需要が弗々現はれて市中とは別な空氣の様に云はれて居る。

東京市況

丸鋼 6mmは大阪方面の伸鐵物も此邊で一段落となつた爲め市況も落ち付きを見せ、9mmは丸鋼組合が㊦物 93 圓の申合せをしたが現況に照らして一寸無理がある爲め伸鐵物など 1、20 錢下値を潜る程度の軟調を示し、ベースは組合員はどうやら守つて居るが裏向は 92、3 圓で取引されて居る様傳へられ、猶地方筋は大阪から相當安値賣込がある模様で底迷を傳へられて居る。中丸は先月迄の輸入が聊か重荷となつて來た感があつて不冴。太丸は 11 圓 50 錢堀みの駢りを傳へられて居る。

角、平鋼 一時は丸の見直しでホツと一息ついたが、それも束の間で丸鋼の逆轉に遇つては同伴も當然軟化して角の 38mmや 65mm が 12 圓見當を唱へて居る外は氣乗薄となり、平は丸の影響で氣配が面白からぬ處へ先月の老大な舶來を眺めて㊦物の入荷は僅少ではありながらザリ食を傳へられて居る。

型鋼 小山は 3mm厚で一時 9 圓 80 錢まで行つたものが近來戻して 10 圓 50 錢を唱へるまでになつたが、一時の氣勢は全く見られなくなつた。中山は例の買漁りも一段落となつたのと發表値段も環境を支配して今度は寧ろ賣に廻つた爲め 2、30 錢の反落を見せて氣配も軟弱、其他の大型物は近來賣行バツタリであるが當所の統制が利いて居る爲め値段も相當の處を保つて大なる變化も無いが之も思惑買が止まつたのを切つ掛けに値段に若干の小弛みを見せたのは人爲策であつたからには己むを得ざるものと見られてゐる。

鋼板 16 は舶來も多く 3x6 は軒並み造るので中板中の悪い方の白眉で下放れを見せ、23 は數量も少いし他の蔭にかくれて小駢り 3x6、4x8 は 16 の上軌を保つて居る。32 は輸入に押されて小甘く、45 は元來大阪の買に依つて反撥したものだけに之が跡を絶つた今日ザリ安を辿るは當然と見られて居る。60mm以上は安値でも 12 圓 80 錢を下らないと云ふ堅調を保つて居る。

大阪市況

丸鋼 とかく人氣は實勢よりも常に先走るもので、先般來人工的に價格を吊下げた我鐵工界も需要が之に伴はざるため先旬來 3、5 圓方の反落を示すに至つたやうである。目先市況を刺激するに足る材料も見當らぬ處から依然凡調裡に推移するであらと見られ、晝寢をきめ込む向もかなりある。

6mm及び8mmは先般來問屋筋の思惑其他安値伸鐵品の入荷一段落等のため比較的堅調を辿つてゐたが、地方よりの注文も一巡したので相場は幾分軟勢に轉じた模様である。9mmは伸鐵品の人荷順調にて相場は頭重い。然し伸鐵材料たる解體材が相當な値頃を示してゐる所から目先大巾の値下げはあるまいと見られてゐる。

ベース物はメーカーの態度強硬なるため氣配は駢りと云はれてゐる。中丸はベース物に連れて氣を持ち且つ外注品の入荷も一巡と見て安賣手もなくなつたので相當な値頃を見せてゐる。太丸は 12 圓見當にて引續き強調。

晝寢して覺れば今日やら明日ぢややら

角、平鋼 角鋼は引續き堅調、概して 9 圓 4、50 錢見當を唱へられてゐる。就中 38mm及び65mmは市中品掠れにて前者は 12 圓後者は 12 圓 50 錢と目立つて高い。平鋼は總じて 9 圓 4、50 錢唱へてこれに伸鐵品に押されて不冴。然し當所分野ものは 10 圓

5、60 錢と光てつゐる。

型 鋼 小形アングルは先般來バーベースの好轉に連れて相當な値頃を示してゐたが、外注品及び伸鐵品の入荷順調なるため閑散そのものゝ如き場面を呈し相場は 10 圓撈みを唱へられてゐる。中形アングルは市中在庫普通であるが賣行捗々しからざる關係から相場は依然伸力に乏しいようである。大形アングルは前旬とほぼ同様の市況を示してゐる。ジョイスト及びチャンネルは氣配は引續き小旋りと云はれ只管秋の需要期を待ちわびてゐる。

鋼 板 1、2 中板は外注品入荷一巡、本國高、其他共販よりのデリバーリー不順調等の好材料を眺めて氣配は旋り乍ら先般來一部間屋筋の策動も立消えの態にて實需不振と相俟つて相場は伸力に乏しいようである。16×5×10 は市中極端なる品掠れにて 18 圓と異常に高い。厚板は本國高に加へてメーカーよりの出廻り不順のため手堅い成行を示し、先行樂觀視されてゐる。

線 材 市中に買氣がないがまた賣り氣もなく、取引も寥々たるもので相場も全く釘付けに等しいようである。

鐵 力 板 爲替の動搖烈しく従つて市中大口取引はないようであるが地方筋では最近幾分買氣擡頭した様子で目下相場は伸びぬまでも下げ止つて來たと云はれてゐる。

販 賣 旬 報 第 237 號 昭 和 8 年 8 月 1 日

製 鐵 所 販 賣 部

8、9 月積黑板共販賣出理事會—内地据置、輸出 5 圓下げ

月日場所 7 月 19 日 甲子園ホテル

出席者 川崎、中山、製鐵、徳山、日鋼及東西 4 社

議 事 8、9 月積黒鉄賣出に關する件

1、買手希望

黑板 8 月積賣出に對する 4 社希望案 7 月積黑板が豫想外の賣行を見たと其後 4 圓の環境に恵まれず輸出向きの如きは 5、6 月の買過ぎ反動もあり既に 6 月下旬より相場は行悩み搗て海外實需筋の消極的買入方針と相關聯して目先き高値を以て大量輸出商談期待薄の状態なり一方内地向も夏枯れ時機とて是亦尙動き良好ならず厚板の在荷は差詰め 7 月積 2 萬餘のものは大半現存し居るものとも見らるべし

市場成行前述の次第とて此際適當な賣値と賣出數量の許に市場の活況を計る必要ある次第なれば 4 社は次記の値段、數量を適當と考ふ。

1、賣出値段及數量

	値 段	數 量
内地向	13 枚物 据置 (162圓替)	申込に據り可然御決定願度
	浪 原 据置	同 上
輸出向	13 枚物 10圓下げ (140圓替)	申込に依り可然御決定願度
	浪 原 10圓下げ	同 上

猶説明として、内地市場は夏枯れに伴ひ賣行不振に陥り、平板は東京 71 錢 5 厘、大阪 73 錢 5 厘撈みを唱へて市況面白からず、原板採算は共販値段を下廻り居る現状なる爲め買手の鎖磨は著しきを以て、今回は値下げ値上げ共買氣を誘發するものとも考へられざるを以て内地向値段は据置きとせられたし。

輸出向に就ては共販が若し是非或る數量を賣る必要あれば内地に影響を及ぼさざる輸出向に振り向くる必要あり、然し海外の買氣を刺激する爲には輸出市場に大なる變化無き今日 10 圓程度の値下げ即ち 140 圓位とする必要ある様感ぜらるゝを以て 10 圓値下げをせられたし。

2、理事會 薄板市場の安定の爲めの根本策に就ては重大なる事項なるを以て他日に譲るとして目前の本月の賣出は内地向は買手希望の通り市場の穩健なる推移を謀る爲には今日の狀態より判斷して値上げ値下げ共出來ざるを以て据置きと決定した。

輸出向は海外市場の哺育の意味より徒に値段のみを下ぐるは策の得たるものにあらざるも買手の希望あり、兎に角 5 圓下げの 145 圓と決定した。

内 地 向

薄 物 部	
13 枚物 162 圓 (据置)	
浪 原 162 圓 (")	
厚 物 部	
12 枚物 158 圓 (据置)	
11 枚物 156 圓 (")	
10 枚物 154 圓 (")	
9 枚物 152 圓 (")	
8 枚物 151 圓 (")	
7 枚物 150 圓 (")	
6 枚物 149 圓 (")	
5 枚物 147 圓 (")	
4 枚物 146 圓 (")	
3 枚物 145 圓 (")	

輸 出 向

薄 物 部	
13 枚物 145圓 (5圓下げ)	
浪 原 145圓 (")	
厚 物 部	
12 枚物 148圓 (5圓下げ)	
11 枚物 146圓 (")	
10 枚物 144圓 (")	
9 枚物 142圓 (")	
8 枚物 141圓 (")	
7 枚物 140圓 (")	
6 枚物 139圓 (")	

3、數量は申込を見たる上決定。

4、締 切 22 日 發 表 24 日

British M. S. Black Sheets Quotation for Aug. Shipment

OSAKA, 19 July, 1933.

3' x 6' x 13sh (30cch)	For Domestic	For Export
Cif. £12-5-0 Ex. ½-¼%	¥ 196.82	¥ 196.82
Int. 1.3%	2.56	2.56
Landing	0.80	0.80
Duty	42.50	0
Per long-ton	¥ 242.68	¥ 200.18
Per sheet	0.8089	0.6672
Per 1,000kgs.	216.78	178.80
Narrow	For Domestic	For Export
Cif. £12-0-0 Ex. ½-¼%	¥ 192.80	¥ 192.80
Int. 1.3%	2.50	2.50
Landing	0.80	0.80
Duty	42.50	0
Per long ton	¥ 238.60	¥ 196.10
5' ¥ 0.5302 39csh. ¥ 206.77	5' ¥ 0.4358 ¥ 169.96	
6' 0.6279 325sh. 204.06	6' 0.5160 167.70	
7' 0.7341 276sh. 202.61	7' 0.6034 166.53	
8' 0.8227 246sh. 202.38	8' 0.6762 166.34	
Average	¥ 203.955	Average ¥ 167.63

British M. S. Black Sheets Quotation for Aug. Shipment.

Ex. ½-¼%	For Domestic	For Export
Int. 1.3%		
Landing ¥ 0.80		
Duty { 12sh-6sh ¥ 42.50		
5sh-3sh ¥ 30.67		
For Domestic		
por 1,000kgs.		
3' x 6' x 12sh. Cif. £ 11-10-0 ¥ 226.77		¥ 184.95
" x 11 11-5-0 222.76		186.94
" x 10 10-12-6 212.76		170.94
" x 9 12-7-6 208.75		166.93
" x 8 9-15-0 198.74		156.92
" x 7 9-5-0 190.73		148.91
" x 6 8-17-6 184.73		142.91
" x 5 8-15-0 171.08		140.90
" x 4 8-1-6 160.28		130.10
" x 3 7-19-0 158.28		128.10

9、10 月積厚板共販賣出理事會—据 置

月日場所 7 月 20 日 甲子園ホテル

出席者 川崎、浅野、東海、製鐵及東西 4 社

議 事 9、10 月積厚板賣出に關する件

1、買手希望 外注値段は爲替の浮動を映して區々にて安値は 6—8—0 を唱へ、高値は 6—14—3 を呼ばれ居るも成行としては 6—11—6 位と考へられ 1/2—% にて換算して K. T. 131・10 となり、内地市場は先月末の丸鋼の立直りを機として人氣高を見たるも實需が伴はざるを以て近來軟弱となり、概ね 130 圓を中心として動く状態なるを以て 9、10 月積は据置きに願度し。

2、理事会 買手希望にもある如く外注の真相は把握に困難なるも概観して前月と大なる變化なく強て云へば輸入も今月中旬を以て大體一段落となるを以て相當値幅を有する今日一應値上げし得べき理由はあるも爲替の變化と豫期せらるゝのみならず、内地市場も寧ろ軟調を傳ふるを以て買手希望通り前月据置きの次記に決定した。

次 記 耳 付 108 圓 定 尺 116 圓

3、數量は前月と同様 3,000 吨前後の賣出しとした。

4、締 切 7 月 24 日 發 表 7 月 25 日

8、9 月積線材共販賣出理事會一賣出中止

月日場所 7 月 21 日 六甲ホテル

出席者 神戸製鋼、製鐵及 5 社

議 事 8、9 月積線材賣出に關する件

1、買手要望 爲替の著しき昇騰製鐵所積遅れ品が一時に入荷したること、アウトサイダー製品の安値賣外註の値下げ等のため一向に相場不伸大阪の御氣分も加はり市況混沌たり、5 社協議したるも種々議論ありて一致せず次記の 2 案を得たり。

第一案 神戸製鋼、製鐵所何れも 8 月中は過剩數量殆どなき様に存ぜらるるを以て賣出を 1 ケ月間中止して限月を短縮し市場の安定を待つて賣出す事にせられたし。

第二案 前月賣出に際し今月は重大なる變化なき限り何ものかの値上げの希望ある旨言明せる手前もあり且つ目下市中在庫も案外少なき様にも思はるゝが故に市價引締めの意味を以て

内地向 1—2 圓上げ 輸出向 1—2 圓下げ

にて賣出願度し、數量は限月短縮の目的を以て遅くとも 9 月 15 日頃迄に積出出来る數量に止められたし

外注はシンダケートが 10 志の値下げをなしたる爲爲替關係も加味し結局河岸着にて 2 圓見當の値下りとなりたるも未だ當然共販値段を遠く上廻り居るも、市況は◎の積遅れ問題のもつれや一度に入荷を見たる結果製品の不味と大阪のお祭禮アウトサイダーの進出に祟られ沈滞を傳へられて居る。

此意味よりすれば或は値下げを要望すべき様にも思はるゝも之は前月の値上げ約束及び問屋手持への影響も考へられ、遂に一致した意見を見出し得ず別項の如き二案の外に東京にては製品値段關係及製品賣行不振より前月要望通り値段の 5 圓下げとするか出來得ざれば第一案にせられたしなど云ふ各種希望が出た。猶限月に就ては 2 ケ月に亘るは甚だ困る故 1 ケ月にせられたし。

2、理事会 買手側より種々の要望はありたるも神戸、製鐵共荷捌關係及工場の大修理、能力低下により賣るべき能力も無き折なれば買手希望第一案と一致し、今月は賣出を中止することとした。

Wire Rods

Cif
1/2—0
1,000kgs.
Int. 1.3%
Charge

21/7'33
£ 7—0—0
¥ 112'00
110'35
1'43
0'80

¥ 112'58

Duty

21'67

¥ 134'25

8、9 月積黑板共販締切理事會一申込 6,000 吨

月日場所 7 月 24 日 甲子園ホテル

出席者 共販側 5 所社及 4 社側

議 事 8、9 月賣出黑板締切割當の件

1、申込數量 始めから期待を掛けてない本月の賣出しも締切りの結果は案外良好で吾々の豫測した程の不成績でもなかつた。即ち薄物は内地輸出を通じ約 3,000 吨厚物は約 2,700 吨と合計 6,000 吨近くの成績であつた。現在環境から視て此邊の數量は上々と言はねばならない。

1、引受數量 申込數量は全量引受のことに決定して次の通り夫々割當せられた。

1、申込數量 薄物部 内地 844 吨 輸出 2,237 吨 計 3,081 吨
厚物部 内地 2,323 吨 輸出 450 吨 計 2,773 吨

2、引受數量 薄物部

組合員	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計
内地向	380	122	312	—	—	844
輸出向	1,587	150	500	—	—	2,237
計	1,967	272	842	—	—	3,081

厚物部

内地向	A	B	C	計
川崎	466	509	219	1,194
製鐵	30	—	—	30
中山	—	—	—	—
徳山	355	252	433	1,040
日鋼	10	40	10	60
計	861	801	662	2,324

輸出向	A	B	C	計
川崎	293	158	—	451
製鐵	—	—	—	—
中山	—	—	—	—
徳山	—	—	—	—
日鋼	—	—	—	—
計	293	158	—	451

9、10 月積厚板共販締切理事會一申込 1 萬 7,000 吨

月日場所 7 月 25 日 製鐵所東京出張所

出席者 浅野、東海及製鐵

議 事 9、10 月積厚板締切に關する件

1、申 込 鋼材中厚板は特殊需要等に依り特異の堅實なる位置

9、10 月積厚板申込及引受高

區 分	先 東 京	大 阪	名古屋	其 他	計	
向 崎	—	2,000	—	—	2,000	
浅 野	2,510	—	—	100	2,610	
東 海	700	600	—	—	1,300	
製 鐵	2,885	2,740	—	250	5,875	
無 指 定	520	4,685	—	119	5,324	
計	6,615	10,025	—	469	17,109	
申 込 高	耳 付 尺	4,390	—	150	10,970	
引 受 高	定 尺	2,225	—	319	6,139	
	計	6,615	10,025	—	469	17,109

引 受 高	耳 付 尺	3,320	3,320
	定 尺	460	460
	計	3,720	3,720

を保ち居りたるも他鋼材の軟調に連れ一時變態的に落調を傳へられたが、其後再び反撥氣勢となり現在に於ても別段崩るゝ模様もなく堅調を保持し居る爲めと、賣出數量の概念が分明し居るので申込も

前月と殆んど變らず、1 萬 7,000 噸となつた。従つて地方別の申込數量も前月と大體同様の結果となつた。

2、引受 厚板の満腹は已に慢性となり今更大量に引受けると云ふても本氣にする者もないと同時に共販としても娑婆氣を出して多く、引受ける氣もなく結局穩當な處で進むことゝなり前月より 100 噸減じて別項の通り 3,720 噸の引受をなした。

ブラッセル露藤囑託通信

7 月 21 日 入電 市況不變、市場閑散。

7 月 6 日 發信 前電以來御報告申上ぐる材料なく、市況は閑散にて相場も共販機關公定値段にて落附き居候。

東西市況—ザリ貧

7 月の月は何と云ふ理由なしに東西共需要勃興市況顛轉を期待されて居たものだが、實際は豫期に反し例年通り市況閑散特に期待を持たれた來勘に入つてからも一向需要出ず、4、5 月以來の舶來は可なりの重荷となつて來た處へ内地メーカーの入荷は氣になる程順調になつて來たので前旬來の不味改まらず、特に丸鋼に於ける大阪方面よりの安値注入は東京の氣を腐らし、それが全般に影響してザリ貧を傳へられて居る。

東京市況

丸鋼 丸鋼組合も西路の壓迫に今迄持ち堪えて居たが、27 日に到つて現在の賣行不振を眺めては如何とも爲し難く、表面 95 圓は唱へながら若干の安値は大目に見ると云ふ申合せがあつた模様でベース物も自然の成行たる 9 圓 2、30 錢を彷徨し先行も未だ明暗分明ならずと傳へられ 9mm は伸鐵物は算定 88 圓で安賣も慎まれて居る爲め一應は小駢りと見られ、中心は外注の影響日を経るに従つて深刻となり只 90、95 邊りが 10 圓 80 錢見當に堅調、太丸は 12 圓見當で駢り。

角、平鋼 角は 38、65 が前旬同様駢りの外は舶來に悩まされて居ると云はれ、平は 9 分野は強保合を續けて居るが、細い處は舶來と丸鋼の軟調に歩調を合せてザリ安と見られて居る。

型鋼 中型山形は可なりの數量の外注と内注入荷の祟りが現はれ、初め前旬來の軟調を續け、大型等山は手持薄なるも需要が止つた爲め環境の支配を受けて頭重を傳へられ、不等山も等山と同様の足取りを見せ、溝、工は需要の皆無が氣になつて厭氣がさし、先行手當薄な事は充分承知しながらも遂に賣りたくなつて氣乗薄と見られて居る。

鋼板 中板類は舶來に比し 9 物は 5、8 圓高を傳へられて居るのは如何に 9 製品が優秀であるかを如實に物語るもので寔に心持よい話である。1'6 は舶來豊富 9 品薄ながら成行として盆槍 2'3 は需要手持共僅少で小駢りと云はれ 3'2 は大阪で時々惡戯するので無下には下げず相場も浮動含みと見られて居る。4'5 は可もなし不可もなし、6'0 以上は前旬より成行として若干軟化した底意は駢りを傳へられ概して中板に比し堅調と見られて居る。

大阪市況

丸鋼 こんもりと茂つた街路樹のかげに客待ちをしてゐる人力車夫にも、道頓堀の横丁に荷をおろすアイスクリーム屋の半纏にも鐵屋の入口の白いのれんにもいよいよ夏らしい強い光が照りつけて、どこからともなく幽かに鈴蟲の鳴聲が聞えてくる。なつかしい、然し何となく寂しいやうなせない夏—夏はちようど白い服をきたヒステリーの看護婦の夕方のバルコニーに出て吹き鳴らすハーモニカのやうに都會人にも一種の哀傷のたねを蒔かしめるものである。殊に昨今のやうに休商同様の閑散な折には尙更感傷的になり易い。然し

來るべき秋の需要期に對して淡い希望を抱いてゐる所から氣配は茲許弱含保合と云はれてゐる。

6mm、8mm は又復伸鐵安値品のため相場はジリ貧歩調を辿つてゐる。9mm は當所品並に伸鐵品の出廻り順調なるため市中品豊富となり賣行捗々しからざる所から相場はベース物を下廻つてゐる。12mm は荷動きも幾分良好となつたので市中品薄となり相場は比較的手堅い。ベース物は市中在庫多く賣行も良好ならざる所から相場は 9 圓を限界に小高下を演じてゐる。中丸は荷動き弗々あり、然して共販よりデリバリー不順なるため市中品掠れにて氣配は強含保合と云はれてゐるが、保稅品を眺めて目先幾分警戒氣味と云はれてゐる。太丸凡調。

蜂の子の袋に秋を待ちにけり

角、平鋼 角鋼は概して品薄と云はれ、殊に中形ものは極單なる品掠れにて 10 圓 1、30 錢見當を唱へられ、32mm 10 圓 50 錢 38mm 12 圓と目立つて高い。平鋼 9 分野は伸鐵品の出廻り順調なるため 9 圓 10 錢搦みを唱へられ其他のものは伸鐵も安賣せざる所から 9 圓 3、50 錢と幾分氣を持ち、75mm 幅以上のものは市中品掠れにて 10 圓以上を唱へられてゐる。

型鋼 小形アングルは外注品、伸鐵品並に共販品の在庫豊富にて相變らず不味の成行を示してゐる。中形アングルは市中ストックは相當ある様子であるが目下賣行もやゝ良好なる所から強保合で先行期待されてゐるようである。大形アングルは輸入皆無にて當所獨占分野であるので相場は 10 圓 10 錢搦みを唱へられてゐる。ジョイスト並にチャンネルは外注品も大した量には上らず當所品の出廻り不順と相俟つて市中在庫少く賣行も相當ある所から氣配は駢りと云はれ先行期待されてゐる。

鋼板 1、2 中板は共販よりの荷廻りは相變らず悪く賣行も相當あるので、當然反撥すべきコンディションにありながら保稅品の動きを氣にしてゐるので氣配は茲許呆りと云はれてゐる。厚板は引續き共販よりの荷廻り不順調にて外注品の入荷も一巡の態にて氣配は強含み保合と云はれてゐる。

線材 市中在庫はさして多い方ではないが、何分にも夏枯れ期にて取引も寥々たる有様にて従つて相場も不伸。

鐵力板 爲替關係で市中相場は幾分引締つたようであるが、肝心の荷動きはさつぱりなく且つ近々に米國アツソーテッド物の大量の入荷あるとの噂にて不冴。

7 月 中 の 日 記

1 日 製鐵所第三鋼板工場操業開始。

○條鋼分野協定會では 7 月 1 日より 9 月末迄 6 箇月間繼續のことに決定。

○鋼材聯合會の存續期限は 8 月末迄延期され 7、8、9、3 箇月間の生産割當を現行の 2 萬 2,600 噸据置と決定。

2 日 大藏省 6 月中の對外貿易出超 2,500 萬圓、上半期累計入超 18 萬 4,000 圓、前年同期累計 26 萬 5,000 圓、鐵の輸入は本年 6 月中 1,500 萬圓、上半期累計 7,350 萬圓、前年同期に比し 3,650 萬圓の輸入増と發表さる。

3 日 東西丸鋼市場ベース物 93 圓確守の聲に市況引締り條鋼類 3、40 錢方鋼板 2、30 錢乃至 7、80 錢方上向く。

○外注 cif 棒鋼、山形鋼は前電に比し 2 志方軟化鋼板ベースは保合。

○日銀本日より各 2 厘方利下實施、改訂利率次の通り

1、商業手形割引歩合 日歩 1 錢

- 1、國債を抵當とする貸付利子及び國債を保證とする手形割引歩合日歩 1 銭 1 厘以上
- 1、國債以外のものを抵當とする貸付利子及國債以外のものを保證とする手形割引歩合日歩 1 銭 2 厘以上
- 1、當座貸越及コレスボンデンス貸越利子日歩 1 銭 4 厘
- 佛・伊・白・和・瑞・ポの呈出せる爲替安定案に對し米國非協定を宣言す。
- 輕軌條 7、8 月積 2 圓値上げす、賣出 6,000 噸と決定。
- 4 日 米國の爲替非協定宣言より弗暴落を續け、市中一般に 27 弗 8 分の 5 賣、28 弗丁度買となり、正金は對米アクセプタンスレートに 27 弗に引き上ぐ。
- 5 日 日銀調査東京卸賣物價前月に比し 1 分 6 厘方騰貴、洋鐵指數は 112、前月より 7、低下するも前年同月に比し尙 45 高位にあり。
- 日支停戦後の戰區接收にからむ前後處置は互譲的に圓滿解決、本日日支代表覺書を交換す。
- 6 日 製鐵所 9、10 月積先物据置と決定。
- 關東共販丸鋼建値 102 圓据置
- 外注値段 cif
- | | |
|------------|--------|
| Bar Base | 5—7—0 |
| Angle Base | 5—7—0 |
| Plate Base | 6—13—6 |
- 7 日 中型山形共販 8、9、10 月積値段を 5 圓下げ。
- 中板共販 9、10 月積値段、1 中板据置き、2 中板は 2 圓上げと決定。
- 自 6 月 28 日至 7 月 7 日三港輸入中板は 1,974 噸、厚板 4,283 噸、中山 1,579 噸
- 10 日 鋼材市況買控氣配濃厚の爲小甘し。
- 11 日 米國株式界活氣横溢し市價は昨年 7 月の約 2 倍、鋼作業率 56 パーセントに上り、スチール株は 65 弗 4 分の 1。
- 歐洲線材シンデケートは日本向輸出値段を 7 磅丁度と 10 志方引下ぐ。
- 13 日 關東鋼材販賣組合では丸鋼ベース 97 圓に引下ぐ、9 耗は 90 圓に決定。
- 14 日 對米爲替 30 弗關門に迫る。
- オランダ中央銀行は公定割引歩合を 4 分 5 厘より 4 分丁度に引下げ同國金本位の危機去ると云はる。

15 日 英・佛・獨・伊 4 國協調條約調節さる。

○アメリカ鐵鋼協會は會長の名を以て鐵鋼業界の産業法典（生産統制、賃銀價額問題を規定する）を全米産業復興局に提出す。

○小賣物價前月に比し 7 厘方上る。

18 日 南阿政府邦品に投資税を課し本日より實施する由。

○本日入電の歐洲大陸相場次の通り前週に比し鋼板 4 志 6 片其他は 2 志 6 片方値下げす。

Bar Base	5—4—6
Angle Base	5—4—6
Plate Base	6—8—0

19 日 米國諸株反落し對米爲替も軟化正金建値 29 弗 8 分の 1 と 1 ポイント引下ぐ。

○薄板共販 8、9 月積内地値段据置と決定。

20 日 厚板共販 9、10 月積耳付 108 圓、定尺 116 圓と据置。

○米國市場の暴落で我市場反落。

○東京爲替市場も對米正金建値 28 弗 8 分の 1 と 1 弗引下ぐ。

21 日 線材共販 8、9 月積賣止めと決る。

22 日 日本亞鉛鐵板輸出組合より昭和製鋼の薄板製造計畫に對し關係當局にその撤回方陳情す。

25 日 丸鋼市價低落より製鋼業者銑鐵値下げを要望し 41 圓を主張す。

27 日 武藤元帥薨去、後任軍事參議官菱刈大將任命さる。

○世界經濟會議は本日最後の本會議に於て遂に無期休會と決定。

7 月中爲替相場

區分	對米	對英	區分	對米	對英
7. 1	25— $\frac{7}{8}$	$\frac{1}{2}$ — $\frac{1}{2}$	7. 19	29— $\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$ — $\frac{1}{2}$
3	26— $\frac{1}{4}$	"	20	29— $\frac{1}{2}$	"
4	27—0	"	21	28— $\frac{1}{8}$	"
5	"	"	22	"	"
6	27— $\frac{1}{4}$	"	24	28—0	"
7	27— $\frac{5}{8}$	"	25	28— $\frac{1}{8}$	"
8	28— $\frac{1}{4}$	"	26	"	"
10	28— $\frac{1}{2}$	"	27	28—	"
11	29—0	"	28	27— $\frac{1}{4}$	"
12	28— $\frac{1}{8}$	"	29	27— $\frac{1}{8}$	"
13	28— $\frac{5}{8}$	"	31	"	"
14	29—0	"			
15	28— $\frac{7}{8}$	"			
17	"	"			
18	29—0	"			

昭和 8 年 6 月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品 種	神 戸	大 阪	横 濱	6 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同 期 累 計
丸 鋼	458	3,772	795	5,025	4,413	13,444	4,030
角 鋼	95	372	510	977	823	2,394	791
平 鋼	235	1,588	2,326	4,069	1,901	8,146	3,569
等 鋼	662	3,005	1,548	5,215	3,168	10,995	620
不 銹 鋼	355	466	137	958	684	1,780	506
溝 鋼	—	172	30	202	62	1,012	275
工 鋼	—	18	—	18	9	94	607
鋼 板 (0.7mm 超)	976	6,515	5,174	12,665	7,892	36,451	4,728
" (0.7mm 以下)	—	934	17	951	586	7,585	10,323
鉄 軌 條	247	2,218	3,296	5,761	7,171	35,804	34,990
線 材	—	160	33	193	119	629	1,711
シ ー ト	384	1,911	1,475	3,770	7,004	19,263	14,107
パ イ リ ン グ	72	—	—	72	408	1,345	6,439
鋼 管	51	814	41	906	1,076	3,304	3,872
其 他	598	232	655	1,485	1,288	7,211	5,201
計	4,133	22,097	16,037	42,267	39,604	149,457	91,769
硫 石	821	—	2,205	3,026	358	18,701	82,067
炭	—	—	—	—	23	99	147
フ タ	33	152	—	185	695	2,539	2,498
ナ ク	15	20	58	93	174	1,744	421

昭和8年6月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材品種寸別數量表

(其の1) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數					
棒鋼の部				型鋼の部				電氣鐵板										
丸鋼				等邊山形鋼				計										
8mm	1	6	28	1	448	43mm	10	16	59	0.35mm	71							
9	11	6½	5	1¼	351	48	5	15	89	0.5	155							
11	51	7	16	1½	2	50	10	14½	4	1.0	29							
12	150	7½	11	1¾	145	53	21	14	23	計			246					
16	51	8	28	1½	2	55	11	13	28	稿鋼板								
19	51	寸法不明		1¾	37	57	5	11	6	6mm			57					
22	20	計		2	360	58	5	8	1	8			5					
25	81	角鋼		2¼	93	60	20	7	1	9			5					
28	10	3/16"		2½	287	64	77	0.8mm	1	3/16"			36					
32	31	3/8"		3	336	65	55	1.2	2	¼			10					
36	10	7/16"		3½	2	66	32	1.32	2	5/16			10					
38	50	1/2"		4	126	67	25	1.5	12	計			123					
50	582	5/8"		4½	2	68	143	1.54	6	鐵力板								
55	442	3/4"		5	33	72	499	1.6	592	lbs								
60	204	7/8"		6	94	73	16	1.69	4	170			336					
65	365	1"		8	1	76	31	1.8	1	100			304					
70	132	1¼"		10	160	77	17	2	36	sheete								
75	231	1½"		12	8	79	31	3.17	50	90			12					
80	104	1¾"		14	57	80	26	3.2	659	80			2					
85	26	2"		16	1	82	196	4	3	70			21					
90	88	2¼"		18	10	87	5	4.5	572	60			26					
95	42	2½"		20	10	90	518	5.5	103	50			26					
100	52	3"		22	10	92	440	6	1,875	40			3					
110	10	3½"		24	10	93	10	8	597	Mixed			66					
115	25	4"		26	10	94	29	9	1,638	Oil size			1,917					
125	5	4½"		28	10	98	134	10	75	Others			2,978					
150	5	5"		30	10	100	51	11	57	計			5,761					
5/32"	1	5½"		32	10	101	10	12	721	鋼板計			19,747					
3/16"	64	6"		34	10	102	31	13	7	軌條								
1/8"	1	6½"		36	10	104	91	16	85	lbs			33					
¼"	28	7"		38	10	110	10	19	124	寸法不明			160					
5/16"	25	7½"		40	10	112	1,010	20	69	計			193					
3/8"	16	8"		42	10	115	19	22	74	造船材料								
1/2"	53	8½"		44	10	125	2	25	17	繼目板								
5/8"	1	9"		46	10	126	3	32	4	寸法不明			9					
3/4"	35	9½"		48	10	127	5	其	1,344	計			9					
1"	190	10"		50	10	130	9	計	12,442	軌附計			202					
1¼"	2	10½"		52	10	133	29					線材の部						
1½"	61	11"		54	10	142	466					線材						
1¾"	2	11½"		56	10	187	18					B.W.G.No.						
2"	2	12"		58	10	190	23					6		101				
2¼"	1	12½"		60	10	292	9					5		2,321				
2½"	37	13"		62	10	343	10					4		1				
2¾"	3	13½"		64	10	其	966					3		150				
3"	18	14"		66	10									1		103		
3½"	74	14½"		68	10									0		1		
3¾"	1	15"		70	10									0.5mm		2		
4"	74	15½"		72	10									0.7				
4¼"	19	16"		74	10									其		28		
4½"	19	16½"		76	10									計		952		
																5mm		54

昭和8年6月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(其ノ2) (單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數		
6	52	鋼 管 の 部		121	5	其 他	697	角 鋼	50	其 他	1,029	鋼 片、 鋼 塊			
7	1	鋼 管	39	164	1	鋼 管 計	903	平 鋼	81	鋼 材 計		50,343	フ エ ロ ク ロ ム シ ー ト バ ブル ウ ム ビ レ ッ ト ゲ ッ グ ス チ ール	97	
8	19			166	1			其 他 鋼 材 の 部	106		計				957
9	15			324	3										
12	16			342	8	丸 鋼	641	車 軸 計	72						
其 他	102			364	6					Pipe fitting	15				
線 材 計 3,001		70mm	2												

昭和8年4月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條 及 竿 鐵 (丸、角及平形にして徑邊又は 幅 15mm を超えざるもの)	13	—	197	172	1	—	31	1	—	—	3	418	1,208
〃 (丸、角、平のもの其他)	50	299	1,777	487	11	73	144	14	—	31	46	2,959	5,044
〃 (テ—形及ア—ン—グ—ル—形)	52	—	833	1,165	—	—	—	—	—	13	235	2,298	3,172
〃 (其 他)	2	—	780	—	—	—	—	12	—	—	5	799	3,303
レ—ット	13	—	—	—	—	—	—	11	—	42	—	66	303
フ—イ—ツ—シ—ユ—、プ—レ—ット	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
ワイヤー—ロ—ッド (巻きたるものにして徑 5mm を超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
〃 (巻きたるもの其他)	31	281	3,383	1,297	—	—	245	1,559	—	—	102	6,898	15,957
鐵 板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざる珪素鋼板)	—	—	283	—	1	—	—	13	—	—	—	296	447
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの其他)	331	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	331	420
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mm を超えざるもの)	—	—	990	721	18	—	13	—	—	—	362	2,104	4,146
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	461	212	4,195	3,404	4	25	3	21	—	88	421	8,829	23,871
〃 (錫鍍したるもの)(炭鐵及炭鋼)	4,649	—	3,882	25	—	—	—	1,154	—	—	835	10,545	28,938
〃 (亜鉛鍍したるもの)	30	—	—	41	—	—	—	41	—	—	2	114	254
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵リ—ン—ド、ワ—イ—ヤ—ン—	4	—	18	1	4	—	7	50	—	—	2	86	261
鐵帶— (捲—)	66	—	378	—	29	—	57	3	—	—	49	582	1,309
バ—ラ—ゴ—ン、ワ—イ—ヤ—ン—	155	168	2,254	5,405	—	51	10	—	—	—	848	8,891	25,146
線 索	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	23
鐵 線	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—	13	33
鐵 管	17	51	11	—	15	—	3	229	—	—	—	430	2,058
鐵 特 殊 鋼 (稅 表 一)	41	—	54	—	258	—	95	6	32	—	30	516	1,629
鐵 道 車 輛 用 車 輪 及 車 軸 (稅 表 二)	—	—	1	—	1	—	10	—	—	—	—	30	66
鐵 道 車 輛 用 ス—プ—リ—ン—グ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	60
合 計	5,924	1,011	19,165	12,718	341	149	618	3,154	32	169	2,940	46,221	177,718
フ—エ—ロ—、マ—ン—ガ—ニ—ス—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	5
鐵 合 金	29	—	10	—	—	—	5	—	—	—	—	44	146
鐵 不 可 鍛 成 鐵 (ア—イ—ン—バ—を 含む)	—	1,175	1,505	296	—	—	—	—	—	52	—	3,498	12,496
鐵 板 (ア—イ—ン—バ—を 含む)	—	—	8,226	1,876	—	—	—	4	—	23	15	10,181	13,502
鐵 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	3	99
合 計	29	1,175	9,742	2,172	—	—	8	41	—	545	15	13,727	26,248
銑 屑 及 故 鐵	3,610	—	719	3,403	—	183	—	37,039	453	10,711	25,626	36,337	227,701
										14,605	17,741	77,753	217,019

昭和8年6月中當所品種別揚地別發送高 (單位噸)

分 類		地 向													輸 出 向			合計
		阪 神		京 濱		名古屋		其 他		當 所		計			滿洲	支那	計	
品 名	寸 法	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	官廳	民間	計				
厚 鋼 板	6mm以上	1,729	2,309	2,211	1,381	9	22	1,438	134	—	178	5,387	4,024	9,411	—	—	—	9,411
中 鋼 板	1mm-6mm未滿	377	1,922	235	1,366	58	258	412	32	1	110	1,133	3,688	4,821	—	—	—	4,821
薄 鋼 板	1mm未滿	54	278	7	186	3	—	23	—	—	20	87	484	571	—	—	—	571
特殊鋼板	一 括	—	150	—	127	—	9	62	9	—	—	62	295	357	—	—	—	357
珪素鋼板	"	—	232	—	703	—	3	—	122	—	16	—	1,076	1,076	—	—	—	1,076
鍍 力 板	"	13	523	93	1,235	—	6	—	28	—	192	111	1,984	2,095	—	—	—	2,095
大形丸鋼	100mm超	15	369	46	332	3	—	46	—	—	16	110	717	827	4	—	4	831
中形丸鋼	36mm超	78	917	142	433	81	279	164	33	—	41	465	1,713	2,178	159	—	159	2,337
小形丸鋼	36mm以下	—	3,251	20	2,746	1	405	257	195	—	138	278	6,735	7,013	201	12	213	7,226
大形角鋼	100mm超	12	17	25	54	5	—	12	—	—	—	54	71	125	—	—	—	125
中形角鋼	36mm超	10	275	28	717	—	127	44	—	—	296	82	1,415	1,497	100	—	100	1,597
小形角鋼	36mm以下	—	116	—	96	—	20	—	—	—	6	—	238	238	—	—	—	238
中形平鋼	巾55mm超	—	292	8	73	—	30	43	21	—	10	51	426	477	4	—	4	481
小形平鋼	巾55mm以下	—	360	—	518	—	116	2	20	—	17	2	1,031	1,033	8	—	8	1,041
特殊形棒鋼	以半丸、六角	—	—	3	—	—	—	2	—	—	4	5	4	9	—	—	—	9
スケルブ	八一下括	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大形山形鋼	等邊不等邊片100mm超	251	2,519	265	1,077	—	6	103	26	—	26	619	3,654	4,273	—	—	—	4,273
中形山形鋼	" 50mm超	290	1,652	144	260	—	55	350	32	—	26	784	2,025	2,809	8	—	8	2,817
小形山形鋼	" 50mm以下	—	634	69	323	—	36	141	16	—	29	213	1,038	1,251	13	—	13	1,264
溝 形 鋼	一 括	212	2,346	156	1,553	—	75	43	53	—	87	411	4,114	4,525	30	—	30	4,555
工 形 鋼	"	11	2,169	—	486	—	10	50	7	—	38	61	2,710	2,771	—	—	—	2,771
特殊型形鋼	球山 Z.T.	—	80	56	3	—	3	58	5	—	—	114	91	205	—	—	—	205
鋼 矢 板	一 括	—	92	—	119	240	5	—	163	—	5	240	384	624	—	—	—	624
重 軌 條	22趾以上	2,195	79	2,039	94	—	—	1,382	253	—	—	5,616	426	6,042	16,642	—	16,642	22,684
輕 軌 條	22趾未滿	143	1,625	20	1,448	—	87	172	565	—	179	335	3,904	4,239	69	—	69	4,308
軌條附屬品	一 括	150	40	32	52	—	1	379	18	—	7	561	118	679	595	—	595	1,274
線 材 類	"	—	2,751	2	2,758	—	40	—	121	—	2,544	2	8,214	8,216	150	70	220	8,436
販賣用鋼片	"	—	448	—	630	—	—	—	—	—	5,056	—	6,134	6,134	—	—	—	6,134
販賣用鋼塊	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44	—	44	44	—	—	—	44
販 賣 用	"	—	1,153	—	—	—	—	—	5,481	—	—	—	6,634	6,634	—	—	—	6,634
シートバー	"	—	—	74	—	—	—	170	—	—	—	244	—	244	—	—	—	244
外 輪	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	221	221	—	—	—	221
車 軸 及 品	"	—	220	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鍛 成 品	"	—	—	—	—	—	—	—	—	87	50	87	76	163	—	—	—	163
短 尺 鋼	"	—	—	—	—	—	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特殊鋼條鋼一括		—	—	—	242	—	—	—	—	—	—	—	242	242	—	—	—	242
銑 鐵		—	1,012	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,012	1,012	—	—	—	1,012
鋼 材 計		5,540	27,831	5,730	19,017	400	1,619	5,356	7,339	88	9,136	17,114	64,942	82,056	17,983	82	18,065	100,121
販 賣 用 屑 鋼		—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,939	—	—	—	—	—	—	1,939

昭和8年7月中發表各種鋼材先物建値表

所 屬 別	區 分 種 類	外 注 値 段			建値 月 日	積 月				備 考
		沖 着	爲 替	河 岸 着		8、9 月積	8、9、 10積月	9 月積	9、10 月積	
關 東 鋼 材	丸 鋼 { 9mm 50mm-100mm ベ ス	5- 9- 0	1/2-7/8	113'67		—	—	—	90	
		5- 3- 0	"	108'90		—	—	—	102	
		5- 4- 6	1/2-1/2	112'25		—	—	97	—	
製 鐵 所	角 鋼 { 平 大 工 鋼 型 溝 形 鋼 所 分 山 形 時 耗 野 鋼 鋼 法 寸 寸	£5- 1-0	1/2-3/4	108'00	7. 6	—	—	—	100	据 置
		"	"	"	"	—	—	—	100	"
		"	"	"	"	—	—	—	99	"
		4-15-0	"	103'20	"	—	—	—	95	"
		5- 5- 0	"	111'34	"	—	—	—	108	"
		4-19-0	"	106'42	"	—	—	—	95	"
中 型 山 形 共 販	中 型 山 形 { 等 不 邊 邊	5- 1-0	1/2-7/8	107'32	7. 7	—	93 94	—	—	5 圓下げ
小 型 山 形 共 販	小 型 山 形 { 3×20mm 3×25mm-5×30mm 5×40mm-6×45mm	6- 4-6	1/2-5/8	125'56	7. 14	—	107	—	—	5 圓下げ
		6- 0-0	"	122'00	"	—	102	—	—	"
		5-16-0	"	118'84	"	—	—	—	—	"
		5-11-6	"	115'28	"	—	97	—	—	"
厚 板 共 販	厚 板 { 耳 付 尺	6-11-6	1/2-5/8	131'10	7.20	—	—	—	108 116	据 置
中 板 共 販	中 板 { 1'6mm 2'3mm 3'2mm 4'5mm	7- 2-0	1/2-3/4	147'67	7. 7	—	—	—	140	据 置
		6-18-0	"	144'47	"	—	—	—	135	"
		6-14-0	"	134'43	"	—	—	—	126	2 圓上げ
		6- 8-6	"	130'02	"	—	—	—	118	"
黒 板 共 販 薄 物 部	黒 薄 板 { 13枚物 6 呎 7 呎 8 呎 輸出向 { 13枚物 6 呎 7 呎 8 呎	12- 5-0	1/2-5/8	216'78	7. 19	162	—	—	—	据 置
		12- 0-0	"	204'06	"	—	—	—	—	"
		"	"	202'61	"	162	—	—	—	"
		"	"	202'38	"	—	—	—	—	"
		12- 5-0	"	178'80	"	145	—	—	—	5 圓上げ
		12- 0-0	"	167'70	"	145	—	—	—	"
黒 板 共 販 厚 物 部	黒 厚 板 { 12 枚物 11 " 10 " 9 " 8 " 7 " 6 " 5 " 4 " 3 "	11-10-0	1/2-5/8	226'77	7. 19	158	—	—	—	据 置
		11- 5-0	"	222'76	"	156	—	—	—	"
		10-12-6	"	212'76	"	154	—	—	—	"
		10- 7-6	"	208'75	"	152	—	—	—	"
		9-15-0	"	198'74	"	151	—	—	—	"
		9- 5-0	"	190'73	"	150	—	—	—	"
		8-17-6	"	184'73	"	149	—	—	—	"
		8-15-0	"	171'08	"	147	—	—	—	"
		8- 1-6	"	160'22	"	146	—	—	—	"
		7-19-0	"	158'28	"	145	—	—	—	"
線 材 共 販	線 材 { 内 地 向 輸 出 向	7-0-0	1/3-0	134'25	7. 21	—	—	—	—	賣出中止
		—	—	—	"	—	—	—	—	"
製 鐵 所	鉄 力 板 { 170lbs 100 珪素鋼板 { B-級 (輸入) { C-級 D-級 T-級	\$ 6-95	29-1/2	25'44	7. 13	—	—	—	—	別途賣出
		3-78	"	13'90	"	—	—	—	—	"
		21- 2-6	1/2-7/8	347'55	7. 12	—	—	305	—	据 置
		27-11-6	"	451'31	"	—	—	325	—	"
	美 裝 鋼 板 { #18以下 { 鷲印 1'6mm以上 { 鷲印 鳩印 鳩印	—	—	—	7. 21	—	—	345	—	美裝鋼板は建値發表せず
		—	—	—	"	—	—	420	—	"
		—	—	—	"	—	—	—	—	"
		—	—	—	"	—	—	—	—	"
	綯 ス コ ッ プ 用 鋼 板	—	—	—	6. 17	—	—	—	—	發表中止
		—	—	—	—	—	—	—	—	"
所	重 軌 條 { 繼目板共 10 哩 未 滿 輕 軌 條 { 10 哩 以 上	—	—	—	6. 17	—	—	—	—	次回三軌會迄 150 圓
		—	—	—	7. 3	—	—	—	—	115圓) 2圓上げ次回迄
	鋼 矢 板	—	—	—	2. 8	—	—	—	—	次回會議迄 155 圓

昭和8年6月中當所品種寸法別生産高

(其ノ1) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		32	55	30	222	球山形鋼		20	222	綯厚鋼板		重軌條	
小形丸鋼		計	146	35	26	mm mm		22	68	6mm	164	37K	11,752
9mm	5,644			40	183	150×75	1	23	1	8	81	40	5,459
10	13	中形角鋼		45	44	5'×2½"	6	25	231	9	15	45	413
11	8			50	263	計	7	27	1	10	2	計	17,624
12	23	38mm	23	計	795	型鋼計 14,988		28	150	¼"	1	附屬品	
13	35	44	52	等邊中形山形鋼		條鋼計 29,512		30	7	計	263	6K 用	14
14	6	46	9	65mm	833	鋼板の部		32	21	耳付綯中鋼板		37	825
15	53	50	89	70	63	薄鋼板		35	1	4.5mm	187	50	194
16	369	55	12	75	789	sheets		36	22	計	187	スパイキ	13
17	2	60	12	90	934	7	131	38	48	耳付綯厚鋼板		ボールド	12
18	198	65	372	100	178	10	15	40	61	6mm	163	ナツト	
19	546	75	825	計	2,797	13	1,524	45	4	8	60	計	1,058
21	95	80	7	等邊大形山形鋼		B.W.G.No.		50	10	9	99	軌附計 22,019	
22	612	90	83	mm		24	23	55	6	計	322	製釘材の部	
25	52	100	365	150	3,671	30	9	耳付中鋼板		ユニバーサル平鋼		線材	
26	18	計	1,849	計	3,671	0.7mm	2	3.2mm	11	9mm	48	11	35
27	3	大形角鋼		不等邊中形山形鋼		計	1,709	4.5	815	12	1	12	1
28	35	mm		mm mm		中鋼板		5.5	1	14	10	14	10
30	7	120	41	65×50	169	B.W.G.No.		計	827	22	158	22	158
32	63	125	117	75×50	123	20	281	耳付厚鋼板		25	23	25	23
34	7	130	39	90×60	45	0.8mm	35	6mm	1,293	計	275	製釘材	
35	1	140	4	計	340	0.87	1	7	33	9mm	48	5.5mm	7,002
36	48	150	4	不等邊大形山形鋼		1	78	8	283	11	35	計	7,002
計	7,838	計	205	mm mm		1.2	19	9	731	12	1	計	7,002
中形丸鋼		角鋼計	2,200	125×90	412	1.25	4	10	133	14	10	鋼線	
38mm	110	小形平鋼		計	412	1.4	6	11	16	25	23	製釘材	
40	13	19mm	266	溝形鋼		1.5	20	12	376	計	275	5.5mm	2,626
42	16	22	171	mm mm		1.6	1,357	13	80	7mm	673	計	2,626
44	37	25	289	100×50	995	1.8	17	14	30	0.35mm	1,055	鋼線	
46	35	32	206	125×65	892	1.85	109	15	390	0.43	68	6 mm	8
48	47	38	1	150×75	853	2	54	16	67	0.5	7	5.5	10
50	315	50	28	200×70	971	2.3	404	17	390	計	1,130	3	21
55	717	計	961	200×80	621	2.4	1	18	40	鉋力板		2.3	1
60	20	中形平鋼		計	4,332	2.5	35	19	97	lbs		0.9	1
65	12	65mm	7	工形鋼		2.6	38	20	16	170	673	計	41
70	13	70	69	mm mm		2.9	43	21	1	160	3	線釘計 9,669	
75	112	75	9	100×50	995	3	129	22	15	112	19	其他の部	
80	49	80	6	125×65	892	3.2	407	25	120	100	524	鍛成品	
85	6	85	9	150×75	853	3.5	63	26	1	95	120	増場鋼	1
90	544	90	115	200×70	971	4	215	28	26	其他の鋼板		電氣爐鋼	204
100	280	計	408	200×80	621	4.5	395	30	1	90	208	普通鋼	164
計	2,326	平鋼計	1,369	計	4,332	5	518	31	1	B.W.G.No.		計	369
大形丸鋼		スケルブ		厚鋼板		5.5	21	32	34	33	13	其他	
110mm	24	72mm	61	6mm	711	計	4,255	33	3	31	6	外輪	284
115	274	計	61	6.5	12	乙形鋼		34	4	30	1,006	車輪	222
125	6	其他の棒鋼		7	75	mm m-n mm		35	1	29	334	ボールド	38
130	94	引拔磨丸	10	8	887	90×50×40	19	36	18	計	2,906	ナツト	52
140	42	六角	9	9	916	100×50×40	33	37	38	鋼板計 22,051		リベット	1
150	115	計	19	100×70×60	38	100×70×60	38	38	38	軌條の部		ナ	
160	49	棒鋼計 14,524		130×70×60	38	130×80×70	32	39	45	輕軌條		其他計 966	
170	6	型鋼の部		130×80×70	32	150×75×65	86	45	45	6K	1,235	鋼材總計 84,217	
180	6	等邊小形山形鋼	57	計	211	計	211	55	5	9	722		
190	46	20mm	57	丁形鋼		14	215	計	3,940	15	3,330		
200	49	2"×2"	31	2"×2"	31	15	11	綯中鋼板		計	3,337		
計	711	4×3	32	4×3	32	16	291	3 mm	5	軌條の部			
丸鋼計	10,875	計	63	計	63	18	93	3.2	13	輕軌條			
小形角鋼		型鋼の部		丁形鋼		19	134	4.5	69	6K	1,235		
25mm	72	等邊小形山形鋼	57	2"×2"	31	綯厚鋼板		計	87	9	722		
28	17	20mm	57	4×3	32	綯中鋼板		輕軌條		15	3,330		
29	1	計	63	計	63	綯厚鋼板		輕軌條		計	3,337		
30	1	計	63	計	63	綯中鋼板		輕軌條		輕軌條			

昭和8年6月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二) (單位吨)

寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數	寸法	吨數
銑鐵		鋼塊		鋼片		ジートバー		短尺及屑鋼					
本所	59,514	普通鋼	122,183	外部向	6,064	外部向	9,565	短尺	1,437				
戸畑	10,129	坩堝鋼	21	内部向	81,875	内部向	9,641	屑鋼	1,738				
洞岡	16,204	電氣爐鋼	1,710										
		鑄造鋼	592										
計	85,847	計	124,506	計	87,939	計	19,206	計	3,175				

東京大阪市中相場

大阪 上 7月7日 中 7月15日 下 7月25日
 東京 上 7月5日 中 7月17日 下 7月28日

寸法	7月上旬		7月中旬		7月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼						
6mm	9.40	9.00	9.20	8.90	9.10	8.80
9	9.30	9.30	9.30	9.10	9.10	9.10
12	9.50	9.70	9.50	9.20	9.30	9.00
19	9.50	9.50	9.50	9.20	9.20	9.20
25	9.50	9.50	9.50	9.20	9.20	9.20
50	10.50	10.80	10.40	10.60	10.20	10.50
65	10.50	10.80	10.40	10.60	10.20	10.50
角鋼						
9mm	9.60	9.30	9.40	9.40	9.40	9.00
12	9.80	9.40	9.80	9.50	9.60	9.10
15	9.80	9.30	9.90	9.30	10.00	9.10
19	9.80	9.50	9.70	9.60	9.70	9.50
38	11.50	12.00	11.30	12.00	12.00	12.00
平鋼						
6mm×38mm	9.50	9.40	9.40	9.40	9.40	9.30
6×50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.50	9.40
6×75	10.50	10.30	10.50	10.20	10.60	10.60
9×100	10.50	10.50	10.50	10.60	10.80	10.80
12×100	10.50	10.50	10.80	10.80	11.00	11.00
等邊山形鋼						
mm mm mm						
6×50×50	9.70	10.00	9.50	9.70	9.40	9.50
6×65×65	9.70	9.70	9.70	9.70	9.70	9.70
9×75×75	10.70	11.00	10.50	10.80	10.30	10.30
9×130×130	10.70	11.00	10.50	10.80	10.30	10.30
12×130×130	10.80	11.00	10.60	11.00	10.50	10.50
15×150×150	10.80	11.00	10.60	11.00	10.50	10.50
不等邊山形鋼						
mm mm mm						
10×50×75	10.50	9.50	10.00	9.70	10.00	9.80
10×75×100	10.60	10.00	9.70	10.00	9.50	9.50
10×90×125	10.60	10.00	9.70	10.00	9.50	9.50
9×100×150	10.80	11.00	10.50	11.00	10.50	11.50
12×100×150	10.80	11.00	10.50	11.00	10.50	11.50

寸法	7月上旬		7月中旬		7月下旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
溝形鋼						
mm mm mm						
5×50×100	11.20	11.00	10.70	11.50	10.50	10.50
6×65×125	11.80	11.50	11.50	11.50	11.40	11.50
3/8×3"×6"	12.50	11.80	12.20	12.00	11.70	12.00
3/8×3×8	11.00	10.70	12.00	10.50	10.50	10.50
9×90×250	11.80	11.50	11.70	11.50	11.50	11.50
10×90×300	11.80	11.50	11.80	11.50	11.50	11.50
工形鋼						
mm mm mm						
5.5×75×150	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	10.70
7×100×200	10.70	10.50	10.50	10.70	10.50	10.70
9×150×300	10.50	10.40	10.40	11.00	11.00	11.00
12×150×350	11.00	10.70	10.70	10.50	10.50	9.30
10×125×250	12.00	11.00	11.50	11.50	11.00	12.00
鋼板						
mm						
1'6×3'×6'	15.10	14.00	14.70	14.70	14.50	14.00
1'6×4×8	16.10	15.50	15.30	15.40	15.00	14.70
3'2×4×8	14.00	14.30	13.50	14.00	13.20	13.50
3'2×5×10	14.40	14.50	13.60	14.40	13.30	13.80
6'0×4×8	13.40	13.00	13.20	13.20	12.80	12.80
6'0×5×10	13.40	13.30	13.30	13.30	13.30	13.30
9'0×4×8	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
9'0×5×10	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
薄鋼板 (13枚)						
英川	58	60	57.5	60	55.5	58.5
八幡	58	60	57.5	60	55.5	58.5
鉄力板						
米	170lbs	29.00	28.50	28.00	28.40	28.00
英	100	16.00	15.60	15.00	15.50	15.40
八幡	170	27.00	27.70	26.50	27.00	26.50
	100	14.70	15.00	14.00	14.50	14.30
	170	28.00	28.20	27.00	27.30	27.30
	100	15.00	15.20	14.50	14.80	14.90
線材						
No. 5 #	112.00	116.00	114.00	115.00	115.00	114.00

備考 単位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 吨當り。鉄力板は 1 箱當り。

7 月 上 中 下 旬 各 種 輸 入 速 報

(自 6 月 28 日 至 7 月 7 日)					(自 7 月 8 日 至 7 月 17 日)							(自 7 月 18 日 至 7 月 27 日)									
品 名	神戸		大阪	横濱	合計	神戸		大阪		横濱		合計		神戸		大阪		横濱		合計	
	本旬	本旬	本旬	本旬		本旬	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬	本月累計	本旬
薄板 (0.7mm 以下)	—	—	2	2	—	—	—	—	—	5	7	5	7	—	—	—	—	—	7	—	7
鋼 板	112	876	931	1,919	38	150	362	1,238	1,277	2,208	1,677	3,596	49	199	37	1,275	884	3,092	970	4,566	
線 材	203	51	30	284	9	212	76	127	—	30	85	369	—	212	10	137	—	30	10	379	
其 他	51	—	5	56	12	63	—	—	—	5	12	68	10	73	—	—	2	7	12	80	
	計	254	51	35	340	21	275	76	127	—	35	97	437	10	285	10	137	2	37	22	459
中 板	1'6mm	—	157	507	664	10	10	322	479	649	1,156	981	1,645	21	31	418	897	399	1,555	838	2,483
	2 3	5	—	91	96	—	5	80	80	111	202	191	287	10	15	81	161	177	379	268	555
	3 2	—	93	254	347	25	25	281	374	366	620	672	1,019	—	25	833	1,207	247	867	1,080	2,099
	4 5	60	410	100	570	10	70	20	430	224	324	254	824	—	70	423	853	79	403	502	1,326
其 他	—	217	80	297	—	—	102	319	137	217	239	536	2	2	—	319	264	481	266	802	
	計	65	877	1,032	1,974	45	110	805	1,682	1,487	2,519	2,337	4,311	33	143	1,755	3,437	1,166	3,685	2,954	7,265
厚 板	6mm	100	517	267	884	165	265	224	741	615	882	1,004	1,888	—	265	219	960	145	1,027	364	2,252
	8	126	108	76	310	125	251	153	264	17	93	298	608	—	251	38	302	215	308	253	861
	9	243	952	302	1,502	166	414	27	979	165	467	358	1,860	—	414	137	1,116	245	712	382	2,242
	12	235	517	332	1,084	50	235	1	518	20	352	71	1,155	—	285	91	609	284	636	375	1,530
其 他	75	389	39	503	407	482	31	420	—	39	438	941	21	503	309	729	241	280	571	1,512	
	計	784	2,483	1,016	4,283	913	1,697	439	2,922	817	1,833	2,169	6,452	21	1,718	794	3,716	1,130	2,963	1,945	8,397
中 山 等 邊	50mm	—	160	49	209	—	—	68	228	404	453	472	681	—	—	191	419	168	621	359	1,040
	65	—	312	100	412	—	—	102	414	179	279	279	693	24	24	384	798	285	564	693	1,386
	75	—	182	86	268	—	—	15	197	157	243	172	440	—	—	342	539	183	426	525	965
	90	—	112	7	119	—	—	—	112	20	27	20	139	—	—	113	225	26	53	139	278
其 他	100	—	90	25	115	—	—	—	90	—	25	—	115	42	42	93	183	20	45	155	270
	計	355	76	25	456	—	355	2	78	337	363	339	795	—	355	231	309	160	522	391	1,186
計	355	932	292	1,579	—	355	187	1,119	1,097	1,389	1,284	2,863	66	421	1,354	2,473	842	2,231	2,262	5,125	

合 同 製 鐵 の 評 價 基 準 價 格 を 修 正

商工省は二十二日午後二時より商相官邸に製鐵合同問題に關する省議を開催

中島商相、岩切、吉野兩次官、松村參與官、福田鑛山局長、中井製鐵所長官出席

中島商相及び事務當局より日本製鐵會社法實施に關する施行勅令の閣議付議が遲延せる事情及び遲延の事由たる監督權問題、工場法問題等について關係各省と折衝せる經過を説明し更に福田鑛山局長より

日本製鐵會社法が議會を通過せる當時と生産設備、生産量の増加、鋼材銑鐵の値上り、各社資産狀態の變化等による經濟的條件の變化があるため議會當時作成せる資産評價の基準を修正し從つて合同會社の資本についても變更を加へねばならぬ事情を説明、近く右の具體案を作成の上改めて報告する旨を述べ何等候決するところなく同四時半散會 (東朝 8 月 23 日版)

丸 鋼 共 販 規 約 案

全國丸鋼共販組合結成は漸次具體化しつつあるが、來る二十五日大阪における鋼材聯合會委員會に付議さるべき日本丸鋼販賣組合規約については關係者において草案作成中の所二十二日脱稿した、同案によれば

關東鋼材販賣組合 (日本鋼管、富士製鋼、釜石鑛山、吾孺製鋼) と過般成立した關西丸鋼組合 (大阪製鐵、神戸製鋼、淺野小倉製鋼) の加盟會社を網羅

全國共販結成の前提となるものである、規約案左の如し

一、名 稱 日本丸鋼販賣組合

一、加盟會社 關東鋼材販賣組合、淺野小倉製鋼、大阪製鐵、神戸製鋼

一、販賣方法 各組合員が指定販賣人を定めこれを通じて販賣する

一、販賣比率 同割當は各社生産比率によること

一、事 務 所 聯合會内部に本部を設置、東京、大阪に支所を設けその他取扱事務所を東京、大阪、神戸、門司に置き注文を收集すること

一、理 事 長 聯合會委員長 (現在は澁澤正雄氏) とす

一、期 間 9 月 1 日から向ふ 3 ケ月間

一、取扱數量 年 40 萬噸 (東朝 8 月 23 日版)